

**STANDARD HORIZON**

*Nothing takes to water like Standard Horizon*

**25 Watt VHF FM Marine Transceiver**

# **ECLIPSE GPS GX1400GPS/J**

## **取扱説明書**



この製品は、船舶共通通信システム 国際 VHF 無線機です。  
ご使用になるには、第二級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。

---

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。

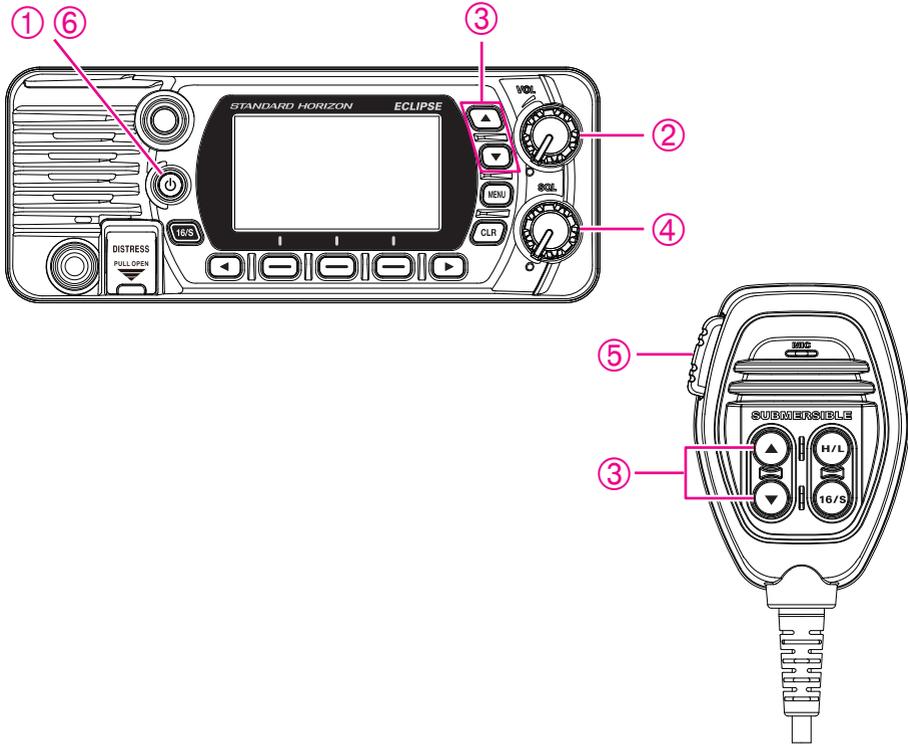
---

# 目次

基本操作ガイド.....	2	スキャン (SCAN).....	26
特徴.....	3	スキャンタイプの設定.....	26
国際 VHF 無線局を開局される方へ.....	4	スキャンメモリーの設定.....	27
付属品.....	5	メモリスキャン (M-SCAN).....	27
オプション.....	5	プライオリティスキャン (P-SCAN).....	27
安全上のご注意 (必ずお読みください).....	6	<b>プリセットチャンネル機能.....</b>	<b>28</b>
各部の名称と働き.....	7	プリセットチャンネルの設定.....	28
フロントパネル.....	7	プリセットチャンネルの呼び出し.....	29
マイクロホン.....	8	プリセットチャンネルの解除.....	29
リアパネル.....	9	<b>DSC (Digital Selective Calling) 機能... 30</b>	
ご使用になる前に (準備).....	10	<b>DSC 機能の概要.....</b>	<b>30</b>
無線機の取り付け.....	10	遭難通報 (DISTRESS ALERT).....	30
オプションの埋込設置用固定ブラケット を使用した取り付け.....	11	遭難通報の受信.....	34
周辺機器の接続.....	12	<b>全船コール.....</b>	<b>35</b>
外部機器の接続.....	14	全船コールの送信.....	35
NMEA 0183/NMEA 0183-HS の接続.....	14	全船コールの受信.....	36
アクセサリケーブルについて.....	15	全船コールのベル音を設定する.....	37
外部 GPS またはチャートプロッターの接続.....	15	<b>個別コール.....</b>	<b>38</b>
外部スピーカーの接続.....	16	個別アドレス帳の登録.....	38
外部 GPS アンテナ SCU-38 の接続.....	16	個別コール返答の設定.....	39
GPS アンテナユニットセット FGPS-4 の接続.....	16	個別コールの確認応答内容の設定.....	40
<b>最初の電源投入時に必要な初期設定.....</b>	<b>17</b>	個別コールの送信.....	40
MMSI 番号の登録について.....	17	個別コールの受信.....	42
MMSI (海上移動業務識別コード) とは.....	17	個別コールのベル音を設定する.....	43
MMSI 番号を登録する.....	17	<b>グループコール.....</b>	<b>44</b>
<b>GPS 信号の確認 (GPS ステータス表示) ... 18</b>		グループコールを設定する.....	44
<b>GPS 設定.....</b>	<b>19</b>	グループコールを送信する.....	46
時刻オフセットの変更.....	19	グループコールの受信.....	48
タイムエリアの変更.....	20	グループコールのベル音を設定する.....	49
時刻表示形式の変更.....	21	<b>位置情報要求.....</b>	<b>49</b>
<b>基本的な操作.....</b>	<b>22</b>	他の船舶に位置情報要求を送信する.....	49
電源の ON/OFF.....	22	位置情報要求の受信.....	52
受信する.....	22	位置情報要求を受信したときの ベル音を設定する.....	52
送信する.....	22	<b>位置情報通知.....</b>	<b>53</b>
送信出力の切り替え.....	22	位置情報を送信する.....	53
設定メニューの基本的な操作.....	23	位置情報通知の受信.....	54
チャンネルグループ (CHANNEL GROUP) ... 24		位置情報通知を受信したときの ベル音を設定する.....	55
ウェザーアラート (WEATHER ALERT) ... 24		位置情報の手動入力.....	55
マルチワッチ (MULTI WATCH) ..... 24		<b>自動ポジションポーリング.....</b>	<b>56</b>
マルチワッチ機能の設定.....	24	自動ポジションポーリングの設定.....	56
2 波同時受信をスタートする.....	25	自動ポジションポーリングの送信時間間隔の設定... 56	

自動ポジションポーリングする船舶の設定 .....	56	通信速度 (BAUD RATE).....	69
自動ポジションポーリングの開始 / 停止 .....	57	出力センテンス (NMEA OUT) .....	70
<b>DSC テストコール .....</b>	<b>58</b>	<b>設定メニュー (CONFIGURATION).....</b>	<b>71</b>
DSC テストコールを送信する .....	58	バックライト輝度調節 (DIMMER) .....	71
DSC テストコールの受信 .....	59	画面のコントラスト調節 (CONTRAST) .....	71
<b>DSC ログ (送受信履歴) の操作.....</b>	<b>60</b>	キー操作音量 (KEY BEEP) .....	72
<b>送信した呼び出し履歴の表示.....</b>	<b>60</b>	ソフトキー (SOFT KEY).....	72
受信した遭難通報の履歴表示.....	60	<b>リセット操作 (RESET).....</b>	<b>73</b>
受信したその他の呼び出しの履歴確認.....	61	MMSI 番号をリセットする.....	74
DSC ログに保存されている呼び出しの一括削除...	62	<b>定格.....</b>	<b>76</b>
<b>設定メニュー (SETUP) .....</b>	<b>63</b>	<b>NMEA 0183 対応センテンス.....</b>	<b>76</b>
<b>DSC 機能設定 (DSC SETUP) .....</b>	<b>63</b>	<b>国際 VHF チャンネル表.....</b>	<b>77</b>
個別アドレス帳 (INDIVIDUAL DIR.) .....	63	<b>GX1400GPS/J 寸法図.....</b>	<b>78</b>
個別コール返答 (INDIVIDUAL REPLY).....	63	<b>埋込設置用テンプレート.....</b>	<b>79</b>
個別コール返答内容 (INDIVIDUAL ACK).....	63		
個別コールベル音 (INDIVIDUAL RING) .....	63		
グループメモリー (GROUP DIR.).....	63		
位置情報要求への応答 (POSITION REPLY).....	64		
自動ポジションポーリング (AUTO POS POLLING).....	64		
自動位置情報要求間隔 (AUTO POS TIME).....	64		
自動チャンネル変更時間 (AUTO CH CHANGE)...	64		
無操作タイムアウト時間 (NO ACTION TIMER)...	65		
位置情報取得待ち時間 (POS UNFIX WAITING TIME).....	65		
DSC ビープ (DSC BEEP).....	65		
<b>チャンネル設定 (CHANNEL SETUP) ...</b>	<b>66</b>		
チャンネルグループ (CHANNEL GROUP).....	66		
ウェザーアラート (WEATHER ALERT) .....	66		
マルチワッチ (MULTI WATCH).....	66		
スキャンメモリー (SCAN MEMORY).....	66		
スキャンタイプ (SCAN TYPE) .....	66		
スキャン再開時間 (SCAN RESUME).....	66		
プライオリティ チャンネル (PRIORITY CHANNEL).....	67		
サブチャンネル (SUB CHANNEL) .....	67		
BUSY インジケータ輝度調節 (RX LED DIMMER).....	68		
<b>GPS 設定 (GPS SETUP) .....</b>	<b>68</b>		
位置座標 (緯度、経度) の形式 (LOCATION FORMAT) .....	68		
時刻のオフセット (TIME OFFSET) .....	68		
表示時刻 (TIME AREA) .....	68		
時刻表示形式 (TIME FORMAT) .....	69		
表示単位 (UNITS OF MEASURE) .....	69		

# 基本操作ガイド



- ① 電源がオンになるまで [電源] ボタンを長く押します。
- ② [VOL] ツマミをまわして、聞きやすい音量に調節します。
- ③ [▲] または [▼] キーを押して、希望のチャンネルを選択します。
- ④ [SQL] ツマミをまわして、「ザー」という雑音が消える位置に調節します。
- ⑤ マイクの PTT スイッチ（送信スイッチ）を押しながら、マイクに向かって話します。  
相手の話を聞くときは、PTT スイッチを放します。
- ⑥ 電源をオフにするときは、[電源] ボタンを長く押します。

## MMSI番号の登録

GX1400GPS/J は DSC 機能を搭載しています。DSC 機能を使用するために、“**MMSI 番号の登録について**”（17 ページ）を参照して、免許状に記載された MMSI 番号を無線機に登録してください。

お買い上げ後、電源を入れると画面に MMSI 番号の入力をうながす“**警告**”画面が表示されビープ音が鳴ります。MMSI 番号を登録すると、それ以後は表示されなくなります。

## 特徴

- **国際 VHF 規格 総務省技術適合証明取得機種**
- **DSC 機能**<sup>※1</sup> **対応**: 遭難通報、緊急通信、個別コール、グループコールや、オプションの外部 GPS アンテナ SCU-38 または FGPS-4、その他外部 GPS 機器との接続により位置情報の通信など便利な機能を使うことができます。
- **混信に強い受信部**: 近くに大出力の通信施設があるような場所でも混信を受けにくく安心して使用することができます。
- **防水設計**: 悪天候でも安心して使える IPX8<sup>※2</sup> (1.5m、30 分) 準拠の防水設計です。
- **優れた操作性**: バックライト付き操作キーを採用し、夜間でも各種操作が簡単に行えます。
- **LED 照明付きディスプレイ**: 白色 LED 照明で視認性に優れたフルドットマトリックスディスプレイを搭載、夜間でも瞬時に動作状態を確認することができます。
- **緊急連絡用チャンネル**: ワンタッチで緊急連絡用の 16 チャンネルとサブチャンネルを呼び出せる 16/S キーと、遭難通報送信専用の誤操作防止カバー付きディストレスキーをフロントパネルに装備しています。
- **2 波 / 3 波受信機能**: 2 つまたは 3 つのチャンネルを自動で監視して受信することができます。連絡用チャンネルと非常用の緊急チャンネルを交互に受信できます。
- **ノイズキャンセル機能**: 周囲の騒音を軽減して明瞭な通信を可能にする、送受信に対応した優れたノイズキャンセル機能を搭載しています。
- **NMEA 0183 に対応**: 対応するチャートプロッターなどの装置を接続して遭難通報の位置情報を表示することができます。
- **イージー・トゥー・オペレート (Easy To Operate)**: 8 種類の機能を自由に割り付けられるソフトキーを搭載するなど、簡単でわかりやすい操作を実現したイージー・トゥー・オペレートに対応しています。

※1 ITU Class D (ITU-R M.493) の DSC 機能を搭載しています。

※2 IPX8 準拠: 水深 1.5m で 30 分間耐える防水性能。

## 国際 VHF 無線局を開局される方へ

当社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本機をお使いになる前に、下記の注意事項をお読みください。

### ■ 無線技士の資格が必要です

この製品をご使用になるには、第二級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。

### ■ 無線局を開局するためには電波法に基づいた手続きが必要です

無線局申請用紙に必要な事項を記入のうえ、国の収入印紙（県の収入証紙は認められません。誤って購入した場合、県の収入証紙を返還して現金の還付を受けることはできませんので十分にご注意ください）を添付し、主たる停泊港を管轄している総務省地方総合通信局（沖縄の場合は沖縄総合通信事務所）へ申請書を提出してください。審査に合格すると免許状および申請書の写しが返送されてきますので、免許状が届いてから運用を開始してください。

無線局の免許を受けずに無線局を運用した場合は、懲役1年以内、罰金100万円以下に処せられる場合があります。

### ■ DSC 機能をご使用になる場合は、MMSI 番号を無線機に登録する必要があります。

DSC 機能をご使用になるには、免許状に記載された MMSI 番号（海上識別信号）を無線機に登録する必要があります。

DSC 機能は、遭難や緊急時に船舶名や免許人名などの重要な情報を通知するためのものですので、必ず登録をお願いします。

MMSI 番号の登録方法は“MMSI 番号を登録する”（17 ページ）に記載していますので、間違えないよう正しく登録してください。

### ■ 本機は5年ごとの定期検査が必要です。

本機のように、固定型として使用する無線機の場合、船舶検査と同じように、5年ごとに検査を受けなければなりません。

検査を受ける年度にあたってときには、管理局より通知が届きますので、検査を受けてください。

### ■ 運用マナーを守って運用してください

国際 VHF はアマチュア無線や携帯電話と違い、遭難通信などの重要な通信を行うものです。また、我が国では、旅客船の定期運行通信、貨物運行などの業務通信、港の施設との航行安全の情報交換等、とても大切な通信も含まれます。運用ルールを守り、私用での通信は絶対に止めましょう。

私用通信により遭難等の通信を妨害した場合、懲役1年以上の有期懲役に処せられる場合があります。

## 付属品

- 取付用ブラケット（一式）
- 電源ケーブル（6A ヒューズ付）
- マイクハンガー（一式）
- 取扱説明書（本書）
- 無線局申請書（一式）
- 保証書

## オプション

- **MLS-300** 大音量外部スピーカー
- **MMB-84** 埋込設置用固定ブラケット
- **SCU-38** 外部 GPS アンテナ（5m ケーブル付）
- **FGPS-4** GPS アンテナユニットセット（15m ケーブル付）※  
※ GPS データ出力 / 電源ケーブル、電源ケーブル（ヒューズ付）付属
- **HC1100** ダストカバー

## 安全上のご注意（必ずお読みください）

本機を安全に正しくお使いいただくために、必ずお読みください。

お客様または第三者の方が、この製品の誤使用・使用中に生じた故障・その他の不具合、あるいはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上、賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### マークの種類と意味



#### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



#### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 図記号の種類と意味



本機を安全にお使いになるため、行ってはならない禁止事項です。  
たとえば、は「分解禁止」を示しています。



本機を安全にお使いになるため、必ず守っていただきたい注意事項です。  
たとえば、は「電源ケーブルを外す」を示しています。

### 警告



分解や改造をしない。  
本機は電波法に基づく無線局です。分解や改造をすると違法ですのでおやめください。  
また、怪我や故障の原因になります。



電源ケーブルは、直流電源に直接接続する。電源ケーブルの延長や継ぎ足しは、火災や故障の原因になります。



指定された電源電圧、電流容量以外では使用しない。  
火災や感電の原因になります。



“煙が出ている”、“変な臭いがする”などの異常状態のまま使用すると、火災や故障の原因になります。

すぐに電源を切り、本機を電源から外してください。煙や変な臭いなどが出なくなったことを確認のうえ、お買い上げいただきました販売店に修理をご依頼ください。

### 注意



磁気カードなどを本機に近づけない。  
キャッシュカードやフロッピーディスクなどの内容が消去されることがあります。



強い衝撃を加えない。  
故障の原因になります。



電源ケーブルの上に重いものを載せたり、電源ケーブルを無理に曲げたり引っ張ったりしない。  
電源ケーブルが傷つき、火災や故障の原因になります。



長期間で使用にならない場合には、安全のため、本機から電源を外してください。



直射日光のあたる場所や熱器具の近くに放置しない。  
変形や変色等の原因になります。



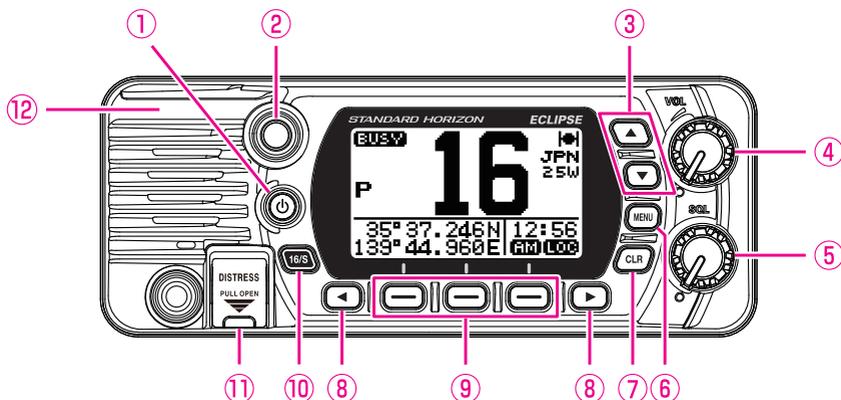
本機を傾いた所や不安定な場所に置かないでください。  
落ちたり、倒れたりしてケガの原因になることがあります。無線機の設置には必ず付属のブラケットを使用して、操船に支障の無い場所に取り付けてください。



シンナーやベンジンでケースを拭かない。  
変形や変色等の原因になります。  
ケースが汚れたときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いて汚れを落としてください。

# 各部の名称と働き

## フロントパネル



- ① **⏻ (電源) ボタン**  
長く押すと電源がオンになります。もう一度長く押すとオフになります。電源がオンになると最後に選択したチャンネルになります。
- ② **BUSY インジケータ**  
信号を受信すると緑色に点灯します。
- ③ **▲ / ▼ キー**
  - ・チャンネルを選びます。
  - ・長押しすると、押している間連続してチャンネルが変わります。
  - ・メニュー操作時に項目を選びます。
- ④ **VOL ツマミ (音量調節)**  
聞きやすい音量に調節します。
- ⑤ **SQL ツマミ (スケルチ調節)**  
信号を受信していないときの「ザー」という雑音が消える位置に合わせます。  
右にまわしすぎると、弱い信号を受信した場合に、受信音が聞こえなくなりますので、まわしすぎないように注意してください。
- ⑥ **MENU キー**  
メニュー画面を表示します。  
設定 (SETUP) メニューについて詳しくは“設定メニューの基本的な操作” (23 ページ) を参照してください。
- ⑦ **CLR キー**  
メニュー操作時、項目選択や設定をキャンセルしたい時に押します。
- ⑧ **◀ / ▶ キー**
  - ・ソフトキーの機能を切り替えます。
  - ・メニュー操作時にメニュー項目を選びます。

### ⑨ ソフトキー

各種機能の選択や設定を行います。

設定メニューでソフトキーの機能を変更することができます。詳しくは“ソフトキー (SOFT KEY)” (72 ページ) を参照してください。

### ⑩ 16/S キー

緊急連絡用チャンネル“CH16”を呼び出すことができます。

長く押しとサブチャンネルを呼び出すことができます。

もう一度押しと元のチャンネルに戻ります。

### ⑪ DISTRESS キー

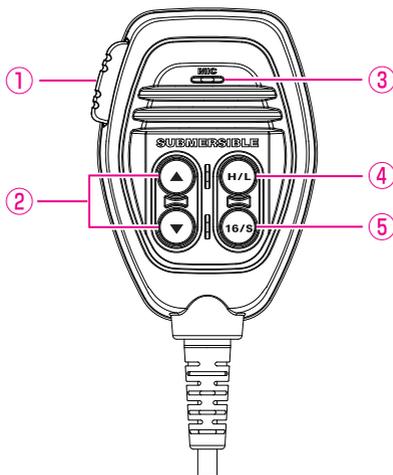
DISTRESS (遭難通報) を送ります。

赤色のカバーを上げて、中の [DISTRESS] キーを約 3 秒間押し続けると、遭難通報が送出されます。詳しくは“遭難通報 (DISTRESS ALERT)” (30 ページ) を参照してください。

### ⑫ GPS アンテナ

GPS アンテナが内蔵されています。

## マイクロホン



### ① PTT (送信) スイッチ

このスイッチを押しながら③マイクに向かって話します。

相手の声を聞くとときはこのボタンを放します。

### ② ▲ / ▼ キー

・チャンネルを選びます。

・長押しすると、押している間連続してチャンネルが変わります。

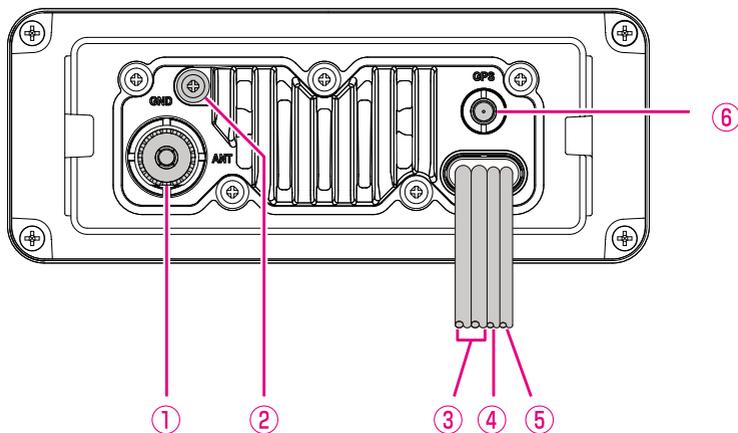
・メニュー操作時に項目を選びます。

### ③ マイク

マイクを口元から約 1.5cm 離して、普通の声量で話してください。

- ④ **H/L キー**  
送信出力（電波の強さ）を“25W”（HI）または“1W”（LOW）の2段階で切り替えることができます。
- ⑤ **16/S キー**  
緊急連絡用チャンネル“CH16”を呼び出すことができます。  
長く押しとサブチャンネルを呼び出すことができます。  
もう一度押しと元のチャンネルに戻ります。

## リアパネル



- ① **アンテナ端子（VHF ANT）**  
マリン用の VHF アンテナ（インピーダンス 50Ω）を接続します。
- ② **接地端子（GND）**  
安全のためと本機の性能を十分に発揮させるために、船体のグラウンドに接続します。  
付属のネジ以外は使用しないでください。
- ③ **DC 電源ケーブル**  
付属の電源ケーブルで DC（直流）11～16V の電源に接続します。
- ④ **NMEA 0183 入出力ケーブル（緑色、茶色、黄色、白色）**  
NMEA 0183 の入出力と NMEA 0183-HS の出力をすることができます。  
詳しくは“NMEA 0183/NMEA 0183-HS の接続”（14 ページ）を参照してください。
- ⑤ **外部スピーカー接続用ケーブル（白色、シールド線）**  
オプションの外部スピーカーを接続できます。  
白色：外部スピーカー（+ 端子）  
シールド線：外部スピーカー（- 端子）
- ⑥ **GPS アンテナ接続端子**  
オプションの外部 GPS アンテナ SCU-38 を接続します。

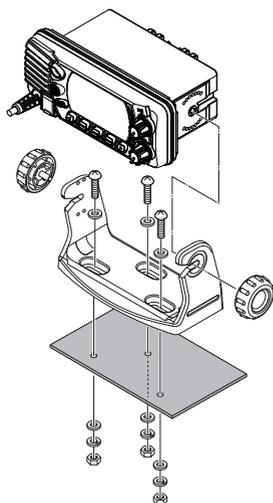
## ご使用になる前に（準備）

### 無線機の取り付け

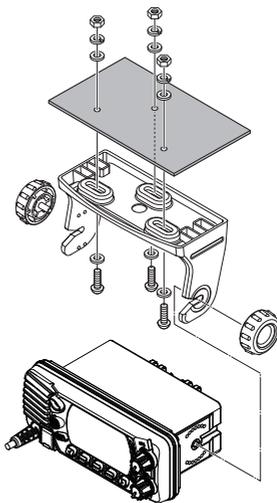
付属のブラケットを使用して、操船に支障のない場所に無線機を取り付けてください。

1.5kg以上の重さに耐えられる厚さ10mm以上の板に、直径5.2mmの穴を開けて、付属のネジ、スプリングワッシャ、平座金、ナットでブラケットを固定します。

ブラケットの取付方向を変えることにより、「据え置き型」、「吊り下げ型」どちらにも対応することができます。



据え置き



吊り下げ

#### ⚠ 注意 ⚠

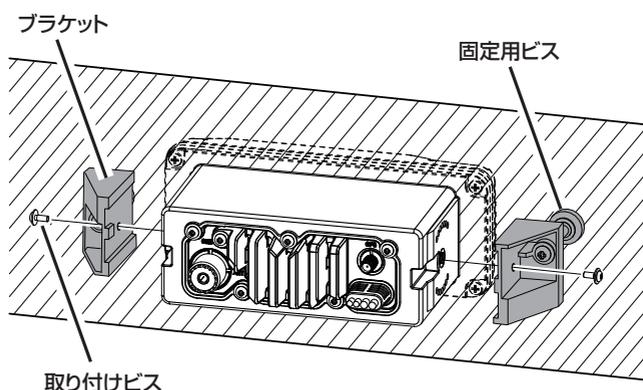
- ・ 取付位置は、安全と操作性に配慮してください。
- ・ 直射日光の当たる場所や熱器具の付近に設置しないでください。
- ・ 放熱の妨げにならないよう、周囲に十分スペースをとってください。
- ・ 振動等で緩まないよう、ビスやブラケットツマミはしっかり締め付けてください。
- ・ 故障や事故の原因になりますので、付属のビス / ブラケットツマミ以外は絶対に使用しないでください。
- ・ 磁気コンパスへの干渉を防ぐため、無線機は1m以上、マイクは0.5m以上、コンパスから離して設置してください。

## オプションの埋込設置用固定ブラケットを使用した取り付け

本機は、前面パネルに GPS 受信機とアンテナが内蔵されています。本機を設置する前に、設置場所で本機の電源を入れて GPS 信号が受信できることを確認してください。GPS 信号を受信できない場合は、NMEA 0183 出力機能のある GPS チャートプロッタまたは、オプションの外部 GPS アンテナ SCU-38 (5m ケーブル付) または GPS アンテナユニットセット FGPS-4 (GPS 受信機内蔵、15m ケーブル付) を使用してください。

オプションの埋込設置用固定ブラケット MMB-84 を使用すると、本機を船舶の操作パネルに埋め込んで設置することができます。この際、この取扱説明書の巻末の“**テンプレート**”を使用して、簡単に埋込場所の選定と取り付け穴の加工が行えます。

1. テンプレートを使用して、本機の埋込場所を選定します。  
なお、埋込場所の選定については、操船に支障の無いよう、安全と操作性に配慮するとともに、船舶の操作パネルの裏側に十分なスペース（奥行き：約 12cm）があることを確認してください。
2. テンプレートに従って、操作パネルに取り付け穴（幅 131mm、高さ 51mm）をあけます。
3. 取り付け穴に本機を挿入し、MMB-84 に付属している取り付けビスで、MMB-84 を本機に取り付けます。  
**注意：**故障の原因になりますので、付属のビス以外は絶対に使用しないでください。
4. MMB-84 の固定用ビスをまわして、本機を船舶の操作パネルにしっかり固定します。  
以上で取り付けは完了です。



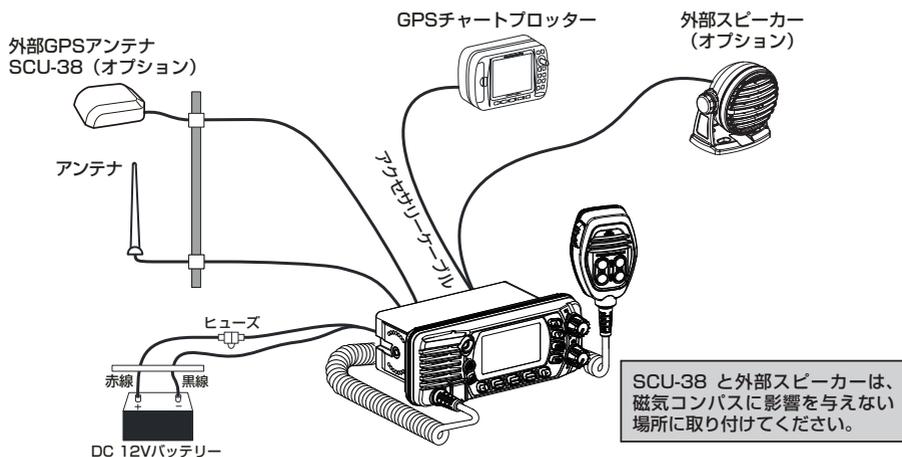
## 周辺機器の接続

### ⚠ 注意 ⚠

電源の極性を誤って接続すると、本機や周辺機器を破損する恐れがあります。

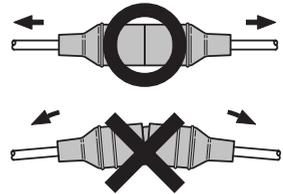
下図を参考にして、電源やアンテナを接続します。必要に応じて、外部GPSアンテナや外部スピーカーなどを接続します。

1. アンテナを無線機から少なくとも1m以上離して取り付けます。無線機のリアパネルのアンテナ端子に接続します。アンテナケーブルにはPL259コネクタ(M形コネクタ)が取り付けられている必要があります。
2. 赤色の電源コードをDC13.8V ± 20%の電源のプラス側に接続します。黒色の電源コードをマイナス側に接続します。
3. オプションの外部スピーカーを使用する場合は、“外部スピーカーの接続”(16ページ)を参照してください。
4. 設置が完了したら、VHF マリーンアンテナのVSWR(定在波比)を確認することをお勧めします。



⚠ 注意 ⚠

- ・必ず DC 12V のバッテリーを使用してください。
- ・交流電源 (AC100V) でお使いになる場合は、オプションの固定用電源 FP-32 をご使用ください。詳しくは FP-32 の取扱説明書をご覧ください。
- ・アンテナは、50 Ω に調節された VHF マリンバンド用のアンテナを使用してください。
- ・外部スピーカー、GPS チャートプロッターを接続した際には、接続部分をビニールテープ等でしっかりと防水 / 絶縁処理を行ってください。
- ・各ケーブルの配線は、操船に支障のないよう安全と操作性に配慮してください。
- ・各ヒューズを交換する際には、ヒューズホルダーは左右まっすぐに引っ張って外してください。ヒューズホルダーを折り曲げるような力を加えると、ヒューズホルダーが壊れたり、接触不良を起こして電源が入らなくなる場合があります。



## 外部機器の接続

### NMEA 0183/NMEA 0183-HS の接続

#### 外部 GPS 機器の接続 (NMEA 0183 または NMEA 0183-HS)

本機は NMEA 0183 の通信速度 (ボーレート) を 4800bps と 38400bps から選択することができます。詳しくは “通信速度 (BAUD RATE)” (69 ページ) を参照してください。

#### NMEA 入力 (GPS 情報)

- NMEA 0183 Ver.2.0 以上と NMEA 0183-HS Ver.1.01 以上に対応しています。
- NMEA 0183 の入力センテンスは GLL と GGA、RMC、GNS、GSA、GSV に対応しています (RMC を推奨します)。
- NMEA 0183 の入力はボーレートの設定に関わらず、NMEA 0183 入出力ケーブルの黄色と緑色の電線を使用します。

#### NMEA 出力 (DSC と GPS 情報)

- NMEA 0183 の出力センテンスは DSC と DSE センテンスに対応します。
- 通信速度 4800bps を選択している場合 (工場出荷時)  
NMEA 0183 入出力ケーブルの白色と茶色の電線から DSC と DSE センテンスが出力されます。
- 通信速度 38400bps を選択している場合  
NMEA 0183 入出力ケーブルの白色と茶色の電線から DSC (DSC、DSE) センテンスが 38400bps で出力されます。
- GSA と GSV、GLL、GGA、RMC センテンスは GPS 設定メニューで設定して出力することができます。詳しくは “出力センテンス (NMEA OUT)” (70 ページ) を参照してください。

外部に接続する GPS 受信機の詳しい接続や設定方法については、外部機器の製造元にお問い合わせください。

## アクセサリケーブルについて

本機と外部 GPS 受信機や GPS チャートプロッター、外部 GPS アンテナなどの外部機器との接続については、下記の図と表を参照してください。

### ⚠ 注意 ⚠

NMEA 入出力ケーブルの各線が、誤って DC (直流) 電源のプラス電圧または無線機本体に触れることがないように十分に注意してください。本機が損傷する恐れがあります。

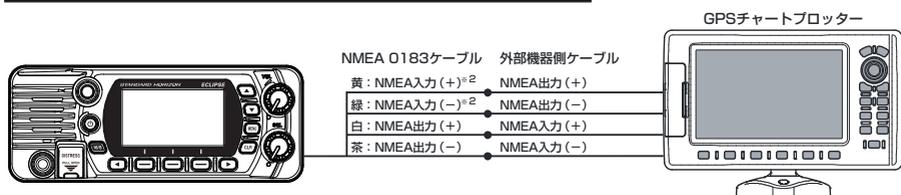
外部 GPS アンテナや外部スピーカーを接続するときは、アクセサリケーブルの必要な線の被覆を剥いて外部機器のケーブルと繋がります。

GX1400GPS/J は、NMEA 0183/-HS プロトコルを使用して、GPS チャートプロッターとの間で座標および DSC 情報を双方向で共有します。

線色と機能	接続例
黄色：NMEA GPS入力 (+)	GPSのNMEA出力 (+)
緑色：NMEA GPS入力 (-) ※1	GPSのNMEA出力 (-) またはGPSの共通グランド
白色：NMEA DSC出力 (+)	GPSのNMEA入力 (+)
茶色：NMEA DSC出力 (-) ※1	GPSのNMEA入力 (-) またはGPSの共通グランド

※ 1：GPS チャートプロッターの一部は、NMEA 信号のグランド用に 1 本の電線を備えています。その場合は GX1400GPS/J の NMEA 入力 (-) を GPS チャートプロッターの NMEA 信号のグランド線に接続し、NMEA 出力 (-) は未接続にします。使用する GPS チャートプロッターと GX1400GPS/J の電源のグランドが異なる場合は、GPS チャートプロッターの NMEA 信号のグランド線を GX1400GPS/J のリアパネルのアース端子 (GND) に接続してください。

## 外部 GPS またはチャートプロッターの接続

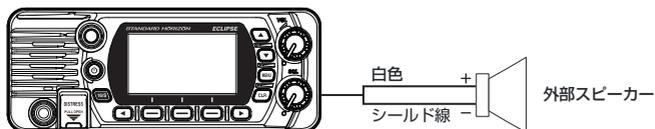


※ 2：外部 GPS 機器から GX1400GPS/J に GPS データを入力するには、NMEA GPS 入力 (+) (黄色) と NMEA GPS 入力 (-) (緑色) の線を外部 GPS アンテナまたはチャートプロッターの NMEA 出力に接続します。

## 外部機器を 38400bps で接続する

38400bps で外部機器と接続するには、GPS 座標の受信、DSC 信号の送信を 38400bps で行うように設定します。詳細は“通信速度 (BAUD RATE)” (69 ページ) を参照してください。

## 外部スピーカーの接続



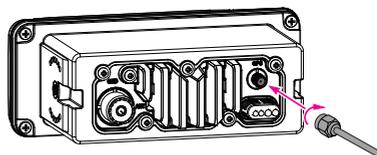
線色と機能	接続例
白色：外部スピーカー (+)	外部スピーカー (4Ω) のケーブル (+)
シールド線：外部スピーカー (-)	外部スピーカー (4Ω) のケーブル (-)

## 外部 GPS アンテナ SCU-38 の接続

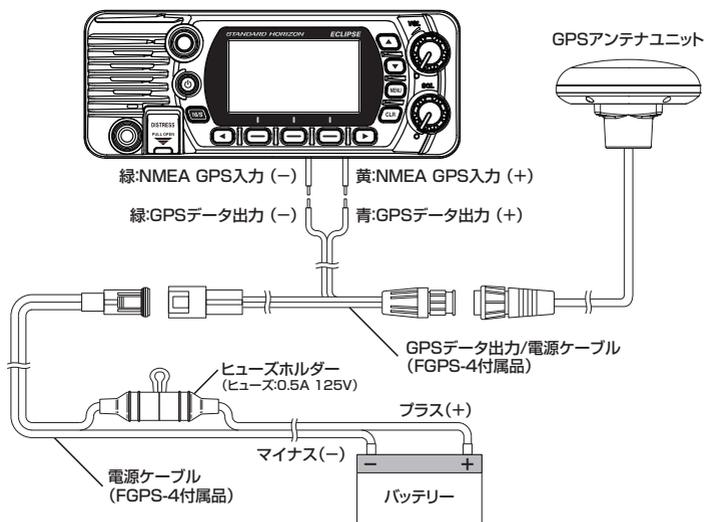
GX1400GPS/J を船内に設置した際、遮蔽物などで GPS 信号を受信できない場合は、オプションの SCU-38 を接続して GPS 信号を受信できる位置に設置します。

右図を参考にして、SCU-38 のケーブルを GX1400GPS/J 背面の“GPS”コネクタに接続します。

**注意：**SCU-38 を接続した場合、内蔵 GPS アンテナよりも SCU-38 が優先されます。



## GPS アンテナユニットセット FGPS-4 の接続



GPS アンテナユニットセット FGPS-4 の GPS アンテナユニットには約 15m のケーブルが接続されています。図を参考にして、FGPS-4 に付属している 2 本のケーブルを使用し、GPS1400GPS/J の NMEA 0183 入力ケーブルに接続します。

## 最初の電源投入時に必要な初期設定

### MMSI 番号の登録について

GX1400GPS/J は DSC 機能を搭載しています。DSC 機能を使用するために、免許状に記載された MMSI 番号を無線機に登録してください。

MMSI 番号を無線機に登録しないと DSC 機能を使用することができません。

### MMSI (海上移動業務識別コード) とは

MMSI (Maritime Mobile Service Identity) は、DSC(Digital Selective Calling、デジタル選択呼出)の信号伝送ができる船舶局または海岸局に認識番号として交付される 9 桁の数字です。この番号は電話番号のように他の船舶を選択的に呼び出すために使用されます。

#### ⚠ 注意 ⚠

MMSI 番号は 1 度だけ登録することができます。登録を完了した MMSI 番号をリセット (消去) や再登録するには、パスワードが必要となりますので、番号を間違えて入力しないよう十分にご注意ください。MMSI 番号のリセットについて詳しくは、“**MMSI 番号をリセットする**” (74 ページ) を参照してください。

### MMSI 番号を登録する

1. [MENU] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。
2. ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーを押して “MMSI/POS INFO” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します (登録を中止する場合は [BACK] ソフトキーを押します)。
3. “MMSI INPUT” 画面が表示されます。“MMSI INPUT” 画面は、MMSI 番号が登録されていない場合のみ表示されます。すでに MMSI 番号の登録が完了している場合は、この画面で MMSI 番号 (ID) の確認をすることができます。
4. [▲] または [▼] キーを押して、MMSI 番号の 1 桁目の数字を選択し [SELECT] ソフトキーを押して、次の桁に移動します。
5. 手順 4 を繰り返して 9 桁の MMSI 番号を入力します。  
もし間違えて入力した時は、[▲] または [▼] キーを押して間違えた数字を選択してから、手順 4 と同様に入力します。



- MMSI 番号の入力が終了したら、[FINISH] ソフトキーを押します。確認のために MMSI 番号を再度入力するよう求められますので、上記の手順 4 から 5 に従ってもう一度入力します。
- 2 度目の入力が終了したら、[FINISH] ソフトキーを押して MMSI 番号を登録します。
- [OK] ソフトキーを押して、通常画面に戻ります。MMSI 番号の登録は以上で完了です。



### 参考

MMSI 番号が正しく登録されたことを確認するには、手順 1、2 の操作を行います。画面に表示された MMSI 番号が正しいことを確認します。

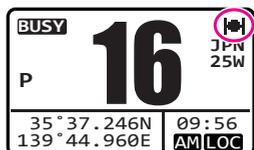
## GPS 信号の確認 (GPS ステータス表示)

本機は GPS 信号を受信すると、画面に GPS アイコン “” が表示され、現在の位置 (緯度 / 経度) が画面に表示されます (NMEA 0183 入力から外部機器の GPS 信号を入力した場合は、画面に “I/O” アイコンが表示されます。)

### 参考

GPS 機器との接続に問題がある場合、GPS アイコン “” が連続して点滅します。

外部 GPS 機器や外部 GPS アンテナから GPS 信号を受信すると、画面右上に GPS アイコン “” または “I/O” アイコンが表示され、現在の位置情報 (緯度 / 経度) が画面の下部に表示されます。



### 注意

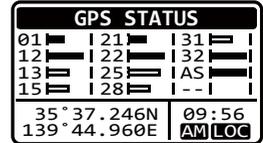
- 本機は、内蔵の GPS 受信機よりも外部入力 (NMEA 0183) からの GPS 位置情報を優先的に使用します。内蔵 GPS 受信機の状態を確認するには、外部 GPS 信号を入力しないでください。
- NMEA 0183 出力の外部 GPS 機器が本機に接続されていない場合は、本機の電源を入れてから 10 分後にビープ音が鳴ります。その後、本機は 4 時間ごとにビープ音を鳴らして GPS 機器を接続するように警告します。

## 参考

本機を、GPS 信号が受信しにくい場所に設置する時は、オプションの外部 GPS アンテナ “SCU-38” または “FGPS-4” を使用することをお勧めします。

1. **[MENU]** ボタンを押してメニュー画面を表示させます。
2. **▲/▼/◀/▶** キーを押して“**GPS**”を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。

本機は、各 GPS 衛星からの相対的な信号強度のグラフィック（棒グラフ）表示と共に、現在受信している衛星を表示します。



3. **[CLR]** キーを押すと、通常画面に戻ります。

## 注意

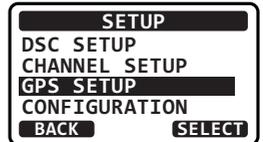
外部 GPS 機器またはチャートプロッターが接続されているときに、GPS ステータスを正しく表示するには、外部 GPS 機器またはチャートプロッターが NMEA 0183 の GSA および GSV のセンテンスを出力するように設定する必要があります。

## GPS 設定

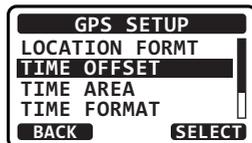
### 時刻オフセットの変更

本機は、工場出荷時の状態では GPS 衛星時刻（UTC (Universal Time Coordinated) 時刻）を表示します。現在地の時刻を示すには時刻オフセットの設定が必要です。

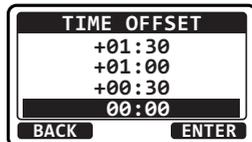
1. **[MENU]** ボタンを押してメニュー画面を表示させます。
2. **▲/▼/◀/▶** キーを押して“**SETUP**”を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。
3. **▲/▼** キーを押して“**GPS SETUP**”を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。



4. ▲ / ▼キーを押して“TIME OFFSET”を選択して、[SELECT]ソフトキーを押します。



5. ▲ / ▼キーを押して、現在地の時刻オフセットを選択します。“00:00”が選択されている場合、時刻はGPS衛星時刻(UTC時刻)と同じです。  
参考：“+09:00”に設定すると、日本標準時になります。



6. [ENTER]ソフトキーを押して、時刻オフセットを保存します。  
7. [CLR]キーを押して通常画面に戻ります。

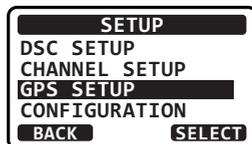
## タイムエリアの変更

本機の時刻表示を“UTC”(工場出荷時設定)、または現在地の時間にオフセットして表示する“LOCAL”に設定できます

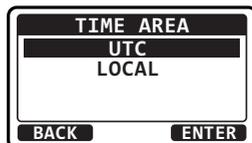
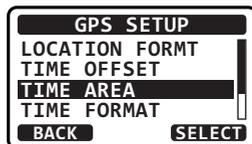
1. [MENU]ボタンを押してメニュー画面を表示させます。  
2. ▲ / ▼ / ◀ / ▶キーを押して“SETUP”を選択して、[SELECT]ソフトキーを押します。  
3. ▲ / ▼キーを押して“GPS SETUP”を選択して、[SELECT]ソフトキーを押します。



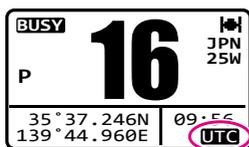
4. ▲ / ▼キーを押して“TIME AREA”を選択して、[SELECT]ソフトキーを押します。



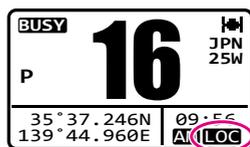
5. ▲ / ▼キーを押して“UTC”または“LOCAL”を選択します。



6. [ENTER]ソフトキーを押して、選択した設定を保存します。  
7. [CLR]キーを押して通常画面に戻ります。



(“UTC”表示)

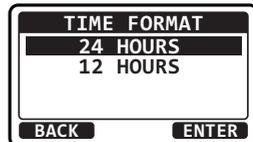
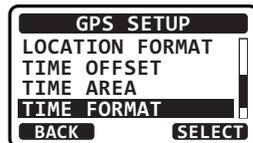
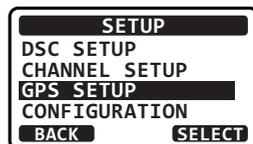


(“LOCAL”表示)

## 時刻表示形式の変更

時刻を 12 時間表示または 24 時間表示に設定できます。

1. [MENU] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。
2. ▲/▼/◀/▶ キーを押して“**SETUP**”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. ▲/▼キーを押して“**GPS SETUP**”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
4. ▲/▼キーを押して“**TIME FORMAT**”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
5. ▲/▼キーを押して“**12 HOURS**”または“**24 HOURS**”を選択します。
6. [ENTER] ソフトキーを押して、選択した設定を保存します。
7. [CLR] キーを押して通常画面に戻ります。



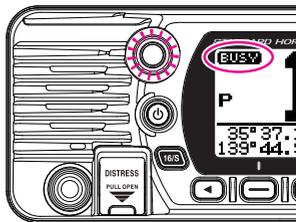
## 基本的な操作

### 電源の ON/OFF

1. [POWER ] キーを長く押しと電源がオンになります。
2. 電源をオフにするときは、もう一度 [POWER ] キーを長く押しします。

### 受信する

1. SQL ツマミを反時計方向にまわし切ります。
2. VOL ツマミをまわして、聞きやすい音量に調節します。
3. SQL ツマミをまわして、“ザー” という雑音が消える位置に調節します。
4. ▲ / ▼ キーを押して、通信するチャンネルを選択します。
  - ・チャンネル表は 77 ページを参照してください。
  - ・マイクの▲ / ▼ キーを押してチャンネルを選択することもできます
5. 信号を受信すると **BUSY** インジケータが緑色に点灯し、画面に“BUSY” アイコンを表示します。



### 送信する

1. マイクの [PTT] ボタンを押しながら話します。送信中は画面に“TX” アイコンが表示されます。
2. [PTT] ボタンを放すと、受信状態に戻り、相手の話を聞くことができます。

#### 参考

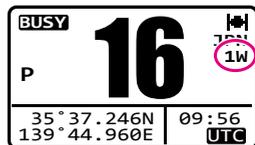
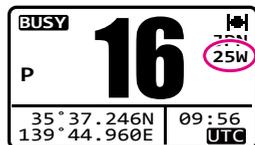
マイクと口元は約 2.5cm 離して、普通の声の大きさで話してください。

### 送信出力の切り替え

送信出力（電波の強さ）は、各チャンネルごとに“25W”または“1W”の2段階で切り替えることができます。

運用規則に則り、設定してください。

1. マイクの [H/L] キーを押すたびに、送信出力が“25W”または“1W”に切り替わります。
  - ・送信出力の設定は電源を切っても保持されます。
  - ・送信禁止チャンネル (CH70) と LO(1W) 専用チャンネル (CH15 および CH17、CH75、CH76) では操作できません。
  - ・CH16 では、送信出力を変更しても、電源を切ったとき、または次に CH16 を呼び出したときは自動的に“25W”に設定されます。



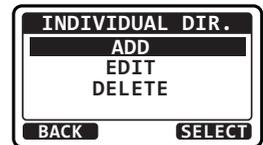
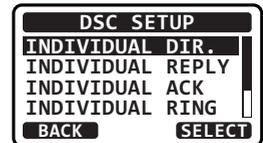
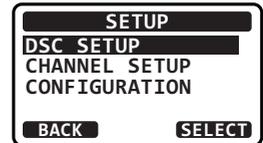
## 注意

- ・ 連続して送信できる時間は最大5分です。5分間連続して送信し続けると、10秒前に警告のビープ音が鳴り、その後自動的に送信が停止します。
- ・ 自動的に送信が停止したときには、一度 **PTT** スイッチを放して、10秒以上経ってから再度 **PTT** スイッチを押して送信してください（送信停止後10秒間は **PTT** スイッチを押しても送信できません）。

## 設定メニューの基本的な操作

設定 (SETUP) メニューを使用すると、本機のさまざまな機能を使い方に合わせてカスタマイズすることができます。

1. [**MENU**] ボタンを押してメニュー画面を表示させます。
2. ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーを押して“**SETUP**”を選択して、[**SELECT**] ソフトキーを押します。
3. ▲ / ▼ キーを押してメニュー項目を選択して、[**SELECT**] ソフトキーを押します。
4. ▲ / ▼ キーを押して変更したい項目を選択して、[**SELECT**] ソフトキーを押します。
5. ▲ / ▼ キーを押して設定値を選択します。
6. [**ENTER**] ソフトキーを押すと、選択した設定が保存されます。
7. [**CLR**] キーを押して通常画面に戻ります。  
[**BACK**] キーを押して、一つ前の画面に戻ることもできます。



この取扱説明書では、上記の操作手順 1 ~ 4 を以下のように書いています。

[**MENU**] ➡ “**SETUP**” ➡ “**DSC SETUP**” ➡ “**INDIVIDUAL DIR.**”

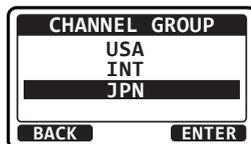
## チャンネルグループ (CHANNEL GROUP)

本機のチャンネルグループを USA (アメリカ) /INT (インターナショナル) /JPN (日本) から選択できます。

**注意:** 日本国内では工場出荷時設定の JPN (日本) のまま、ご使用ください。公海上など日本国外では INTL または USA に変更することができます。

1. [MENU] → “SETUP” → “CHANNEL SETUP” → “CHANNEL GROUP”

2. ▲ / ▼ キーを押して、チャンネルグループを “USA”、“INT”、“JPN” から選択します。



3. [ENTER] ソフトキーを押すと、選択した設定が保存されます。

4. [CLR] キーを押して通常画面に戻ります。

## ウェザーアラート (WEATHER ALERT)

NOAA (アメリカ海洋大気局) ウェザーチャンネルのウェザーアラート (気象警報) 受信機能のオン / オフを設定します。

**参考:** NOAA ウェザーチャンネルはアメリカで運用されているため、日本の周辺では受信できません。

1. [MENU] → “SETUP” → “CHANNEL SETUP” → “WEATHER ALERT”

2. ▲ / ▼ キーを押して、“ON” または “OFF” を選択します。

3. [ENTER] ソフトキーを押すと、選択した設定が保存されます。

4. [CLR] キーを押して通常画面に戻ります。

NOAA ウェザーアラートを受信するとビーブ音が鳴ります。いずれかのキーを押すとビーブ音が停止して、確認画面が表示されます。[OK] ソフトキーを押してから、ウェザーチャンネルに移動するには [YES] ソフトキーを押します。マリーンチャンネルに戻るには [NO] ソフトキーを押します。

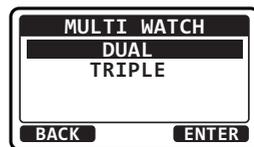
## マルチワッチ (MULTI WATCH)

マルチワッチ機能の動作を “DUAL” (2波受信) または “TRIPLE” (3波受信) から選択します。

### マルチワッチ機能の設定

1. [MENU] → “SETUP” → “CHANNEL SETUP” → “MULTI WATCH”

2. ▲ / ▼キーを押して“DUAL”（2波受信）または“TRIPLE”（3波受信）を選択します。
  - “DUAL”に設定すると、“優先チャンネル”と“通常のVHFチャンネル”を交互にスキャンします。
  - “TRIPLE”は、“優先チャンネル”と“サブチャンネル”、“通常のVHFチャンネル”を交互にスキャンします。
3. [ENTER] ソフトキーを押すと、選択した設定が保存されます。
4. [CLR] キーを押して通常画面に戻ります。



## 2 波同時受信をスタートする

1. SQL ツマミをまわして、信号がないときの“ザー”という雑音が消える位置に調節します。
2. ▲ / ▼キーを押して、受信したいチャンネルを選択します。
3. いずれかのソフトキーを押します。
4. ◀ / ▶ キーを押して [DW] ソフトキーを表示させて、[DW] ソフトキーを押します。



画面に“DW-16”と表示されます。（DWに続く数字は優先チャンネル番号を表しています。）

優先チャンネルで信号を受信すると、停止して信号を受信します。また信号が無くなるまで優先チャンネルを受信し、信号がなくなると2つのチャンネルの交互受信を再開します。

5. もう一度 [DW] ソフトキーまたは [CLR] キーを押すと、デュアルワッチを終了します。

前項の“マルチワッチ機能の設定”の手順2で“TRIPLE”を選択すると、[TW] ソフトキーが表示され、押すとトリプルワッチ（3波同時受信）機能が動作します。

### 参考

優先チャンネルとサブチャンネルは、それぞれCH16、CH09（工場出荷時）から他のチャンネルに変更することができます。詳しくは“**プライオリティチャンネル (PRIORITY CHANNEL)**”（67ページ）または“**サブチャンネル (SUB CHANNEL)**”（67ページ）を参照してください。

## スキャン (SCAN)

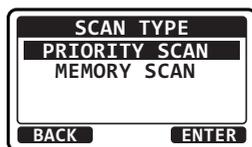
スキャンチャンネルメモリーとプリセットチャンネルメモリーに設定されたチャンネルおよび最後に選択されたウェザーチャンネルを自動でスキャンします。

スキャン中にいずれかのチャンネルで信号を受信すると、そのチャンネルで一時停止し、画面のチャンネル番号が点滅します。一時停止しているときは受信した信号を聞くことができます。信号がなくなると自動でスキャンを再開します。

### スキャンタイプの設定

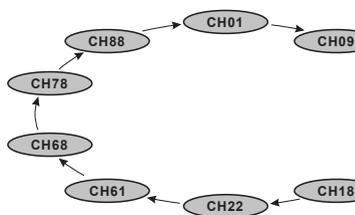
1. [MENU] → “SETUP” → “CHANNEL SETUP” → “SCAN TYPE”

2. ▲ / ▼ キーを押して “**PRIORITY SCAN**”  
または “**MEMORY SCAN**” を選択します。

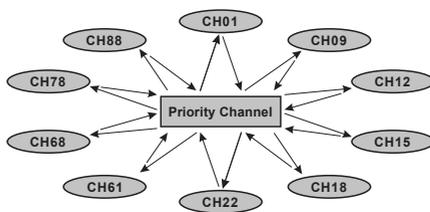


3. [ENTER] ソフトキーを押すと、選択した設定が保存されます。

4. [CLR] キーを押して通常画面に戻ります。



メモリスキャン (M-SCAN)

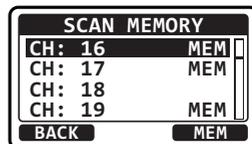


プライオリティスキャン (P-SCAN)

## スキャンメモリーの設定

1. [MENU] → “SETUP” → “CHANNEL SETUP” → “SCAN MEMORY”

2. ▲ / ▼キーを押して、スキャンするチャンネルを表示させて、[MEM] ソフトキーを押します。選択したチャンネルの右側に “MEM” アイコンが表示されます。



3. 手順2を繰り返してスキャンする全てのチャンネルを設定します。  
スキャンメモリー設定したチャンネルを解除するには、チャンネルを選択してから、[MEM]ソフトキーを押して “MEM” アイコンを消します。
4. 設定が完了したら、[CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

### メモリースキャン (M-SCAN)

1. 設定メニューでスキャンタイプを “MEMORY SCAN” に設定します。詳しくは “スキャンタイプの設定” (26 ページ) を参照してください。
2. SQL ツマミをまわして、信号がないときの “ザー” という雑音が消える位置に調節します。
3. いずれかのソフトキーを押します。

4. ◀ / ▶ キーを何度か押して、画面の下部に [SCAN] ソフトキーを表示させて押します。画面の右側に “M-SCN” アイコンが表示され、メモリースキャンが開始されます。



スキャンメモリーとプリセットチャンネルに設定されたチャンネルを小さい番号から大きい番号の順にスキャンして、信号を受信するとそのチャンネルで自動的に一時停止して信号を聞くことができます。一時停止中は画面のチャンネル番号が点滅します。

5. スキャンを止めるには [SCAN] ソフトキーまたは [16/S] キー、[CLR] キーを押します。

### プライオリティスキャン (P-SCAN)

1. 設定メニューでスキャンタイプを “PRIORITY” に設定します。詳しくは “スキャンタイプの設定” (26 ページ) を参照してください。
2. SQL ツマミをまわして、信号がないときの “ザー” という雑音が消える位置に調節します。

3. いずれかのソフトキーを押します。
4. ◀ / ▶ キーを何度か押して、画面の下部に [SCAN] ソフトキーを表示させて、[SCAN] ソフトキーを押します。画面の右側に “P-SCN” アイコンが表示され、メモリースキャンが開始されます。



スキャンメモリーまたはプリセットチャンネルに設定されたチャンネルとプライオリティチャンネルを交互にスキャンして、信号を受信するとそのチャンネルで自動的に一時停止して信号を聞くことができます。一時停止中は画面のチャンネル番号が点滅します。

5. スキャンを止めるには [SCAN] ソフトキーまたは [16/S] キー、[CLR] キーを押します。

### 参考

工場出荷時設定では、チャンネル 16 がプライオリティチャンネルとして設定されています。設定メニューでプライオリティチャンネルを希望するチャンネルに変更することができます。“**プライオリティ チャンネル (PRIORITY CHANNEL)**” (67 ページ) を参照してください。

## プリセットチャンネル機能

よく使うチャンネルを最大 10 個まで記憶 (プリセット) しておいて、簡単に呼び出すことができます。

P-SET やその他のソフトキーの割り付けについて、詳しくは “**ソフトキー (SOFT KEY)**” (72 ページ) を参照してください。

### プリセットチャンネルの設定

1. ▲ / ▼ キーを押して、プリセットしたいチャンネルを表示させます。



2. いずれかのソフトキーを押します。
3. ◀ / ▶ キーを何度か押して、画面の下部に [P-SET] ソフトキーを表示させて長く押します。



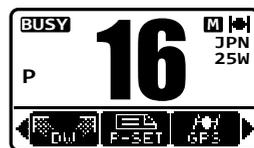
4. [ADD] ソフトキーを押して、プライオリティチャンネルに設定します。画面の右上に “P-SET” アイコンが表示されます。



5. 手順 1 から 4 を繰り返して、最大 10 チャンネルまでプリセットチャンネルを設定することができます。それ以上設定しようとするとビーブ音が鳴ります。

## プリセットチャンネルの呼び出し

1. いずれかのソフトキーを押します。
2. ◀ / ▶ キーを何度か押して、画面の下部に [P-SET] ソフトキーを表示させて押します。プリセットチャンネルを呼び出して、画面に “P-SET” アイコンが表示されます。  
参考：プリセットチャンネルが1つも設定されていないときは、エラー音が鳴ります。
3. ▲ / ▼ キーを押して、プリセットチャンネルを呼び出します。
4. もう一度 [P-SET] ソフトキーを押すと、“P-SET” アイコンが消えて、元のチャンネルに戻ります。



## プリセットチャンネルの解除

1. いずれかのソフトキーを押します。
2. ◀ / ▶ キーを何度か押して、画面の下部に [P-SET] ソフトキーを表示させて押します。プリセットチャンネルを呼び出して、画面に “P-SET” アイコンが表示されます。
3. ▲ / ▼ キーを押して、解除するチャンネルを選択します。
4. いずれかのソフトキーを押します。
5. ◀ / ▶ キーを何度か押して、画面の下部に [P-SET] ソフトキーを表示させて長く押しします。
6. [DEL] ソフトキーを押して、プライオリティチャンネル設定を解除します。
7. 手順2 から 4 を繰り返してチャンネルを削除します。



# DSC (Digital Selective Calling) 機能

## DSC 機能の概要

DSC (Digital Selective Calling、デジタル選択呼出) は半自動化された無線通信方式で、国際海事機関 (IMO) が国際標準として制定しています。また、DSC は世界海難救助システム (GMDSS) の一部としても制定されています。

DSC により、乗組員が GPS 位置情報 (内部 GPS アンテナまたは外部 GPS 受信機から有効な GPS データが受信できている場合) を含んだ遭難通報を、海岸局および通信範囲内の他の船舶に即座に送信することができます。また DSC 対応トランシーバーを装備した他の船舶との間で遭難、緊急、安全、位置情報要求などを送受信できます。

## 遭難通報 (DISTRESS ALERT)

GX1400GPS/J は、すべての DSC 対応トランシーバーとの間で遭難通報を送信および受信することができます。GX1400GPS/J の遭難通報には、内蔵 GPS または外部 GPS 受信機から GPS 位置データを受信しているとき、自船の緯度と経度の情報が含まれています。

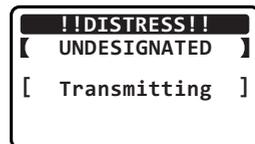
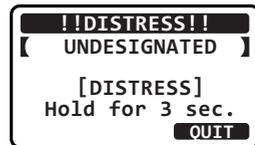
### ● 遭難通報の送信

#### 注意

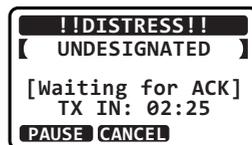
- DSC 遭難通報を送信するためには、必ず GX1400GPS/J に MMSI 番号を登録する必要があります。詳しくは“**MMSI 番号を登録する**” (17 ページ) を参照してください。
- 内蔵の GPS アンテナまたは外付けの GPS 受信機から有効な位置情報データが受信できる必要があります。詳しくは“**アクセサリケーブルについて**” (15 ページ) を参照してください。

### ● 基本操作

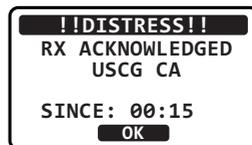
1. フロントパネルにある赤色のカバーを上げて、**[DISTRESS]** キーを 3 秒間押し続けると、画面にカウントダウン (3 sec - 2 sec - 1 sec) を表示して、その後、遭難通報を送信します。カウントダウンの間、画面とキーのバックライトが点滅します。
2. 遭難通報を送信すると、遭難通報の応答待ちの画面が表示され、通話チャンネルがチャンネル 16 に切り替わります。



3. 遭難信号の応答が受信できるまで、約4分前後の間隔で自動的に遭難通報を繰り返し送信します。



4. 遭難通報への応答信号を受信すると、ピープ音が鳴り、応答した船舶のMMSI番号が表示されます。



5. マイクのPTTスイッチを押しながら、ゆっくり、はっきりと下記の内容を話します。
  - (1) メーカー、メーカー、メーカー
  - (2) こちらは<船名>です。(3回繰り返します)
  - (3) こちらは<コールサインまたは自船のID番号>です。
  - (4) 自船の位置(緯度/経度)
  - (5) 遭難の状況
  - (6) 要請する救助事項
  - (7) 救助を待つ人数
  - (8) その他、救助の役に立つ情報(船の大きさ、色、タイプなど)
  - (9) どうぞ
6. PTTスイッチを放して、応答を待ちます。
7. トランシーバーが遭難通報を再送信する前に遭難通報をオフにするには、[CANCEL]ソフトキーを押します。

**注意:** 遭難通報を一度でも送信した後に取り消すには“遭難通報の取り消し”(33ページ)を参照して、“遭難通報の取り消し”を行ってください。

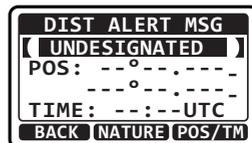
### ● 遭難の種類(原因)を指定してDSC遭難通報を送信する

以下の遭難の原因を指定することができます。

“UNDESIGNATED”(不測の事態)、“FIRE/EXPLOSION”(火災/爆発)、“FLOODING”(浸水)、“COLLISION”(衝突)、“GROUNDING”(座礁)、“CAPSIZING”(転覆)、“SINKING”(沈没)、“ADRIFT”(漂流)、“ABANDONING”(破棄)、“PIRACY”(海賊行為)、“MOB”(落水)

1. [MENU] → “DSC” → “DIST ALERT MSG”

2. [NATURE]ソフトキーを押して、“NATURE OF DIST”メニューを表示させます。



- ▲ / ▼キーを押して、遭難の種類（原因）を選択して、[ENTER] ソフトキーを押します。



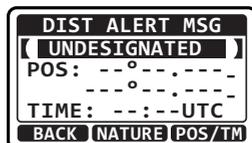
- フロントパネルにある赤色のカバーを上げて、[DISTRESS] キーを3秒以上押して、遭難通報を送信します。
- 前項の基本操作の手順2～6に従って、操作します。

### ● 位置情報と時刻を手動で入力して遭難通報を送信する

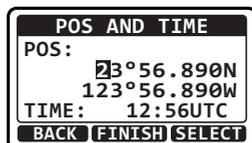
なんらかの理由でGX1400GPS/JがGPSの測位ができない場合に、緯度と経度、時刻を手動で入力して遭難通報を送信することができます。

- [MENU] → “DSC” → “DIST ALERT MSG”

- [POS/TM] ソフトキーを押します。



- ▲ / ▼キーを押して、緯度の最初の数字を選択し、[SELECT] ソフトキーを押して次の桁に進みます。
- 手順3を繰り返して、“緯度” (Lat) と “経度” (Lon)、“時刻” を入力します。



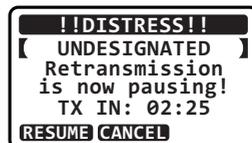
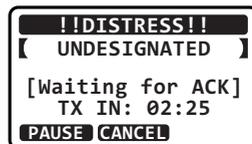
もし間違えて入力したときは、◀/▶キーを何度か押して、間違えた数字を選択して手順3に従って正しい数字を入力します。

- 全て入力したら [FINISH] ソフトキーを押して、設定を保存して前の画面に戻ります。
- フロントパネルにある赤色のカバーを上げて、[DISTRESS] キーを長押しして、遭難通報を送信します。

## ● 遭難通報の自動送信を一時的に停止する

遭難通報を送信した後は、遭難通報の応答を受信するか、または遭難通報の取り消しの操作をするか、本機の電源がオフにされるまで、遭難通報の送信を約 4 分前後の間隔で自動で繰り返します。以下の手順で遭難通報の再送信を一時停止できます。

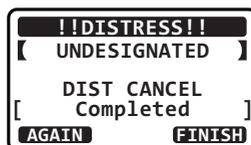
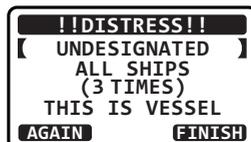
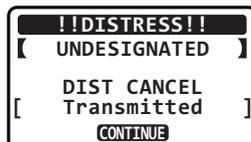
1. 遭難通報を送信した後、画面が図のような表示になります。  
この表示例の“TX IN : 02:25”は、次回の遭難通報を再送するまでの時間（2分25秒後）を表しています。
2. 遭難通報の再送信を一時停止するには、[PAUSE] ソフトキーを押します。
3. 遭難通報を送信するために、カウントダウンを再開するには、[RESUME] ソフトキーを押します。



## ● 遭難通報の取り消し

もし、誤って遭難通報を送信してしまったときは、他船からの応答を待っている間に、下記の操作を行って“遭難通報の取消”を送信してください。

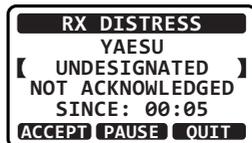
1. [CANCEL] ソフトキーを押してから、[YES] ソフトキーを押します。
2. 遭難通報のキャンセルが送信されたら、[CONTINUE] ソフトキーを押します。
3. マイクの PTT スイッチを押しながら、ゆっくり、はっきりと下記の内容を話します。  
(1) 各局、各局、各局  
(2) こちらは<船名>です。(3回繰り返します)  
(3) <MMSI 番号>の遭難通報を取り消します。  
(4) (上記(1)から(3)までを3回繰り返します。)  
(5) どうぞ
4. [FINISH] ソフトキーを押します。  
もう一度、遭難通報のキャンセルを送信するには [AGAIN] ソフトキーを押します。
5. [QUIT] ソフトキーを押して通常画面に戻りません。



## 遭難通報の受信

1. 遭難通報を受信すると、緊急を知らせるためにアラーム音が鳴ります。画面に遭難通報を送信している船舶の MMSI（または名前）が表示されます。
2. 何かキーを押すとアラーム音が停止します。  
3つのソフトキーの機能は以下のとおりです。

**[ACCEPT]**: このキーを押すと、遭難通報を受け入れて、チャンネル 16 に切り替わります。

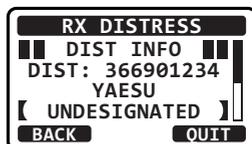
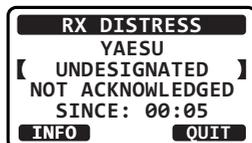


**注意**: **[ACCEPT]** ソフトキーが押されない場合でも、遭難通報を受信して 30 秒以上経つと、自動でチャンネル 16 に切り替わります。

**[PAUSE]**: チャンネル 16 への自動切り替えを一時的に停止するには、このキーを押します。

**[QUIT]**: このキーを押すと、通常画面に戻ります。

3. 遭難通報を受け入れた後、**[INFO]** ソフトキーを押すと、遭難している船舶の情報を表示します。
4. ▲ / ▼ キーを押して画面をスクロールして、遭難している船舶の MMSI（または名前）、遭難の種類（原因）および GPS 位置を確認します。受信した通話に位置データが含まれていない場合は、画面に“**NO POSITION**”と表示されます。
5. **[QUIT]** ソフトキーを押すと、通常画面に戻ります。



### 注意

- 救助のために海岸局が援助を必要とするかもしれないので、チャンネル 16 を受信し続ける必要があります。
- 未確認の遭難警告があるとき、画面に“☒”アイコンが表示されません。DSC ログから未確認の遭難通報を確認することができます。“**受信した遭難通報の履歴表示**”（60 ページ）を参照してください。

## 全船コール

全船コールは個別の MMSI を指定しなくても、DSC 対応トランシーバーを装備している全ての船舶を呼び出すことができます。また、呼び出しの種類を“**SAFETY**”（安全）または“**URGENCY**”（緊急）から指定できます。

**SAFETY コール：** この呼び出しは、船舶安全情報を他の船舶に送信するために使用されます。

**URGENCY コール：** この呼び出しは、船舶が遭難していないかもしれないが、遭難につながる潜在的な問題がある場合に使用されます。

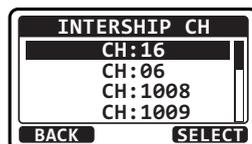
## 全船コールの送信

1.  → “DSC” → “ALL SHIPS”

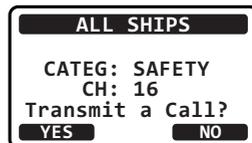
2. ▲ / ▼ キーを押して、呼び出しの種類（“**SAFETY**” または “**URGENCY**”）を選択し、**[SELECT]** ソフトキーを押します。



3. ▲ / ▼ キーを押して、通信するチャンネルを選択し、**[SELECT]** ソフトキーを押します。すべての音声チャンネルから通信するチャンネルを選択するには、**[MANUAL]** ソフトキーを押します。



4. **[YES]** ソフトキーを押して、選択した種類の全船コールを送信します。



5. 全船コールを送信した後、表示は変更せずに上記のステップ3で選択されたチャンネルに切り替わります。



6. マイクの **PTT** スイッチを押しながら、ゆっくり、はっきりと以下の内容を話します。

## 呼び出しの種類が“Safety”（安全）の場合

- (1) “PAN PAN”（パン パン）（3回繰り返します）
- (2) こちらは<船名>です。（3回繰り返します）
- (3) こちらは<コールサインまたは自船のID 番号>
- (4) MMSI は<MMSI 番号>です。
- (5) どうぞ

## 呼び出しの種類がUrgency”（緊急）の場合

- (1) “SECURITE”（セキュリテ）（3回繰り返します）
- (2) こちらは<船名>です。（3回繰り返します）
- (3) こちらは<コールサインまたは自船のID 番号>
- (4) MMSI は<MMSI 番号>です。
- (5) (安全通報の内容を通報します。)
- (6) どうぞ

7. [QUIT] ソフトキーを押して、全船コールメニューを終了します。

## 全船コールの受信

1. “全船コール”を受信すると、アラーム音が鳴ります。  
“全船コール”を送信している船舶の MMSI が画面に表示され、30 秒後に自動で指定されたチャンネルに変更されます。
2. なにかキーを押すとアラーム音が停止します。
3. すべての船舶の通信が完了するまで、指定されたチャンネルを受信します。

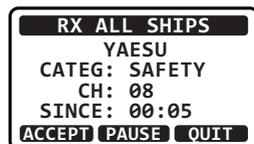
[ACCEPT] キー：このキーを押すと、全船コールを受け入れ、要求されたチャンネルに切り替わります。

参考：[ACCEPT] ソフトキーが押されない場合でも約 30 秒で、自動で指定されたチャンネルに変更されます。

[PAUSE] キー：このキーを押すと、指定されたチャンネルへの自動切り替えが一時的に無効になります。

参考：場合によっては、要求されたチャンネルに自動的に切り替わると、通話中の重要な通信が中断される場合があります。この機能により、チャンネル切り替えを一時停止して、現在のチャンネルで通信を続けることができます。

[RESUME] キー：このキーを押すと、指定されたチャンネルへの自動切り替えを再開します。



[QUIT] キー：指定されたチャンネルに切り替わる前に、このキーを押すと、自動チャンネル切り替えを中止して、最後に選択していたチャンネルに戻ります。

- 呼び出している船舶の MMSI（または名前）、呼び出しの種類および指定されたチャンネルが表示されます。
- [QUIT] ソフトキーを押すと、通常の画面に戻ります。
- PTT スイッチを押して、呼び出している船舶と通話します。

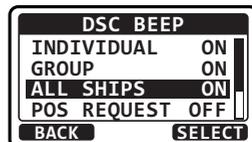


## 全船コールのベル音を設定する

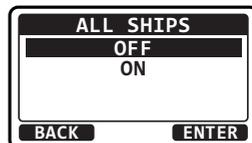
全船コールを受信したときのベル音を鳴らないように設定することができます。

- [MENU] → “SETUP” → “DSC SETUP” → “DSC BEEP”

- ▲ / ▼ キーを押して、“ALL SHIPS” 選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。



- ▲ キーを押して、“OFF” 選択し、[ENTER] ソフトキーを押します。



- [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

ベル音を再び有効にするには、上記の手順 3 で “ON” を選択します。

## 個別コール

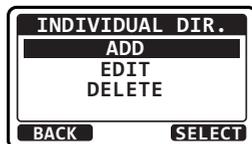
GX1400GPS/JはDSC対応トランシーバーを搭載している他の船舶を呼び出して、受信したトランシーバーを自動で指定した通信チャンネルに切り替えることができます。この機能は、チャンネル16で船舶を呼び出して、別のチャンネルに移動することを要求することに似ています。

### 個別アドレス帳の登録

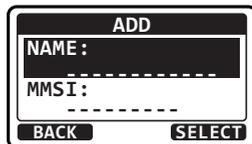
個別アドレス帳には、個別コールおよびポーリング、位置情報通知、自動ポジションポーリング、位置情報要求などを使って、連絡する船舶または名前および関連するMMSI番号を最大60件まで保存することができます。個別コールをするには、相手の情報を個別アドレス帳 (INDIVIDUAL DIR.) に登録する必要があります。

1. **[MENU]** ⇒ **“SETUP”** ⇒ **“DSC SETUP”** ⇒ **“INDIVIDUAL DIR.”**

2. ▲ / ▼ キーを押して、“**ADD**” を選択し、**[SELECT]** ソフトキーを押します。

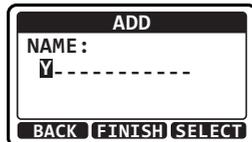


3. ▲ / ▼ キーを押して、“**NAME:**” を選択し、**[SELECT]** ソフトキーを押します。



4. ▲ / ▼ キーを押して、船舶または個人の名前の最初の文字を選択します。

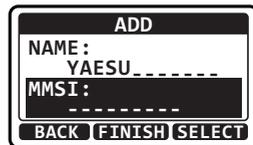
5. **[SELECT]** ソフトキーを押して、カーソルを次の桁に移動します。



6. 手順4と5を繰り返してすべて入力します。最大12文字まで入力できます。

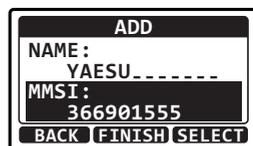
もし間違えて入力したときは、◀ / ▶ キーを何度か押して、間違えた文字を選択して手順4と5に従って正しい文字を入力します。

7. 入力が完了したら [**FINISH**] ソフトキーを押して、前の画面に戻ります。
8. ▼キーを押して、“**MMSI:**” を選択し、[**SELECT**] ソフトキーを押します。
9. ▲ / ▼キーを押して、数字を選択します。
10. [**SELECT**] ソフトキーを押して、カーソルを次の桁に移動します。



もし間違えて入力したときは、◀ / ▶キーを何度か押して、間違えた文字を選択して手順 9 に従って正しい文字を入力します。

11. 手順 9 ~ 10 を繰り返し、9 桁の MMSI 番号をすべて入力します。
12. MMSI 番号をすべて入力したら、[**FINISH**] ソフトキーを押して設定を保存します。
13. 続けて他の船舶や個人を入力するには、手順 2 ~ 12 を繰り返します。



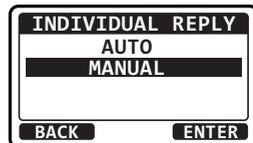
14. [**FINISH**] キーを押して、通常画面に戻ります。

## 個別コール返答の設定

このメニュー項目では、個別コールを受信したときに、自動または手動（工場出荷時設定）で返答して、音声通信のためのチャンネルに切り替えるように設定できます。“**MANUAL**” を選択すると、呼び出してきた船舶の MMSI 番号が表示され、誰が呼び出しているかを確認してから返答することができます。

1. [**MENU**] ⇒ “**SETUP**” ⇒ “**DSC SETUP**” ⇒ “**INDIVIDUAL REPLY**”

2. ▲ / ▼キーを押して、“**AUTO**” または “**MANUAL**” を選択します。
3. [**ENTER**] ソフトキーを押して、設定を保存します。



4. [**CLR**] キーを押して、通常画面に戻ります。

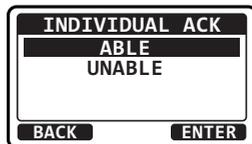
## 個別コールの確認応答内容の設定

前項の“個別コール返答の設定”が“**AUTO**”に設定されている場合、自動で送信する確認応答を“**ABLE**”（応答可）または無効“**UNABLE**”（応答不可）から設定できます。工場出荷時設定は“**ABLE**”です。

1.  → “**SETUP**” → “**DSC SETUP**” → “**INDIVIDUAL ACK**”

2. ▲ / ▼ キーを押して、“**AUTO**” または “**MANUAL**” を選択します。

3. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。



4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

## 個別コールの送信

DSC 対応トランシーバーを搭載した他の船舶を呼び出すことができます。

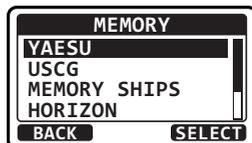
### ● 個別アドレス帳を使用して個別コールを送信する

1.  → “**DSC**” → “**INDIVIDUAL**”

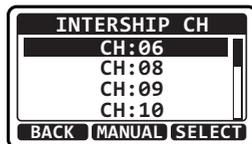
2. ▲ / ▼ キーを押して、“**HISTORY**” または “**MEMORY**” を選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。



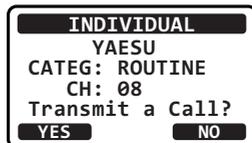
3. ▲ / ▼ キーを押して、通信する個別の相手を選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。



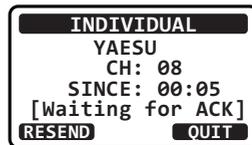
4. ▲ / ▼ キーを押して、通信するチャンネルを選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。  
すべての音声チャンネルから選択するには、[MANUAL] ソフトキーを押してから選択します。



5. [YES] ソフトキーを押して、個別コールを送信します。



- 個別コールを送信した後、応答信号を受信できない場合、画面に“**Waiting for ACK**”と表示されます。これは、トランシーバーが、呼び出した船舶からの応答信号の受信を待っていることを意味します。



再度、個別コールを送信するには、**[RESEND]** ソフトキーを押します。

- 個別コールの確認応答を受信すると、上記の手順 4 で選択したチャンネルに自動的に変更されて、呼び出し音が鳴ります。
- PTT** スイッチを押しながらマイクに向かって話して、他の船舶と通信します。

### ● MMSI 番号を手動で入力して個別コールを送信する

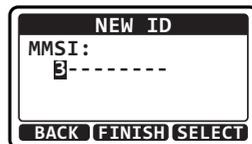
個別アドレス帳を使わずに MMSI 番号を手動で入力して、個別コールを送信することができます。

- [MENU]** 〰️ “**DSC**” 〰️ “**INDIVIDUAL**”

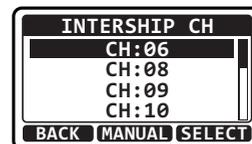
- ▲ / ▼ キーを押して、“**NEW ID**” を選択し、**[SELECT]** ソフトキーを押します。



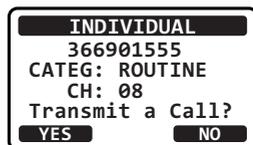
- ▲ / ▼ キーを押して、数字を選択します。
- [SELECT]** ソフトキーを押して、カーソルを次の桁に移動します。



- 手順 3 ~ 4 を繰り返し、9 桁の MMSI 番号をすべて入力します。  
もし間違えて入力したときは、◀ / ▶ キーを何度か押して、間違えた文字を選択して手順 3 に従って正しい数字を入力します。
- MMSI 番号をすべて入力したら、**[FINISH]** ソフトキーを押して設定を保存します。
- ▲ / ▼ キーを押して、通信するチャンネルを選択し、**[SELECT]** ソフトキーを押します。  
すべての音声チャンネルから選択するには、**[MANUAL]** ソフトキーを押してから選択します。



8. [YES] ソフトキーを押して、個別コールを送信します。



9. 個別コールを送信した後、応答信号を受信できない場合、画面に“**Waiting for ACK**”と表示されます。これは、トランシーバーが、呼び出した船舶からの応答信号の受信を待っていることを意味します。再度、個別コールを送信するには、[RESEND] ソフトキーを押します。
10. 個別コールの確認応答を受信すると、上記の手順 7 で選択したチャンネルに自動的に変更されて、呼び出し音が鳴ります。
11. PTT スイッチを押しながらマイクに向かって話して、他の船舶と通信します。

## 個別コールの受信

個別呼び出しを受信すると、応答信号を送り返す必要があります。応答信号を自動で送り返すには、“個別コール返答の設定” (39 ページ) を参照して“**AUTO**”に設定します。

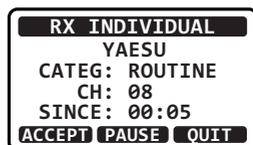
手動応答 (“**MANUAL**” に設定されている場合) :

1. 個別コールを受信するとアラーム音が鳴り、呼び出してきた船舶の MMSI 番号が画面に表示されます。
2. なにかキーを押すとアラームが停止します。

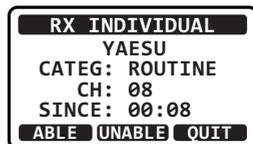
[ACCEPT] キー：このキーを押すと、全船コールを受け入れ、指定されたチャンネルに切り替わります。

[PAUSE] キー：このキーを押すと、指定されたチャンネルへの切り替えを一時停止して現在のチャンネルで通信を続けることができます。

[RESUME] キー：このキーを押すと、指定されたチャンネルへの切り替えを再開します。



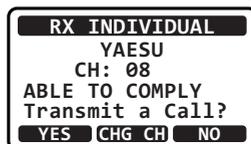
3. 個別コールを受け入れたら、[ABLE] ソフトキーを押して、指定されたチャンネルに切り替えます。(応答できないことを船舶に知らせるには、[UNABLE] ソフトキーを押します)。



4. **[YES]** ソフトキーを押して、確認応答を送信します。

通信チャンネルを変更する場合は**[CHG CH]** ソフトキーを押して、チャンネルを選択します。

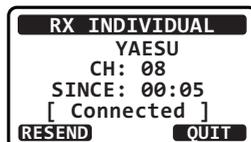
5. 確認応答を送信した後、表示は変更せずに、要求されたチャンネルに切り替わります。



6. 相手局からの通信が終わるまで、要求または指定されたチャンネルを受信します。

**PTT** スイッチを押しながら、マイクに向かって話して、個別コールをした船と通話します。

7. **[QUIT]** ソフトキーを押すと通常画面に戻ります。



### 自動応答 (“AUTO” に設定されている場合) :

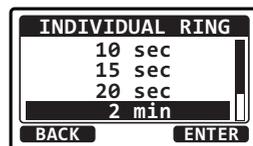
1. 個別コールを受信すると、ベル音が鳴ります。呼び出してきた船舶の MMSI 番号が画面に表示され、30 秒後に自動で指定されたチャンネルに変更されます。
2. なにかキーを押すとアラームが停止します。
3. 相手の通話が終わるまで、要求されたチャンネルを受信します。 **PTT** スイッチを押しながら、マイクに向かって話して、個別コールした船と通信します。
4. **[QUIT]** ソフトキーを押すと通常画面に戻ります。

### 個別コールのベル音を設定する

個別コールを受信すると、ベル音が 2 分間 (工場出荷時設定) 鳴ります。この設定項目でベル音が鳴る時間を設定できます。

1. **[MENU]** ⇒ “SETUP” ⇒ “DSC SETUP” ⇒ “INDIVIDUAL RING”

2. ▲ / ▼ キーを押して、個別コールのベル音が鳴る時間を選択します。
3. **[ENTER]** ソフトキーを押して、設定を保存します。

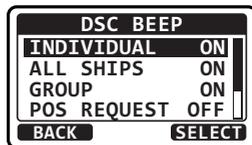


4. **[CLEAR]** キーを押して、通常画面に戻ります。

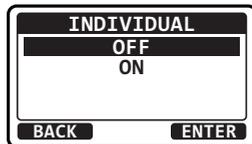
## ● 個別コールのベル音を鳴らないように設定する

1. [MENU] ⇒ “SETUP” ⇒ “DSC SETUP” ⇒ “DSC BEEP”

2. ▲ / ▼ キーを押して、“INDIVIDUAL” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。



3. ▲ キーを押して、“OFF” を選択して [ENTER] ソフトキーを押します。



4. [CER] キーを押して、通常画面に戻ります。

ベル音を再び有効にするには、上記の手順 3 で “ON” を選択します。

## グループコール

グループコール機能を備えた DSC 対応トランシーバーを搭載している船舶のグループを呼び出して、音声通信のための指定チャンネルに自動的に切り替えることができます。この機能は、ヨットクラブや一緒に移動する船舶同士が、あらかじめ決めたチャンネルで一斉に連絡をしたい場合に大変便利です。グループ MMSI 番号を最大 30 件まで登録することができます。

### グループコールを設定する

この機能を使用するには、この機能を使用する船舶グループのすべての DSC VHF トランシーバーに同じグループ MMSI をプログラムする必要があります。

**船舶 MMSI**：船舶 MMSI の MID (Mobile Identity Group) と呼ばれる最初の 3 桁は、船舶 MMSI が登録されている国を示します。最後の 6 桁は船舶に固有の ID です。

船舶 MMSI の例：MMSI が “100123456” の場合、“100” は国を意味する MID であり、“123456” は船舶 MMSI です。

### グループ MMSI 番号：

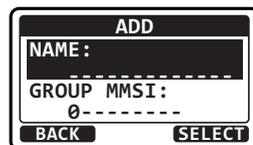
- グループ MMSI 番号の最初の桁は、国際ルールによって常に “0” に設定されています。GX1400GPS/J のグループ MMSI 番号は、あらかじめ最初の桁が “0” に設定されていて変更できません。
- グループのすべてのトランシーバーに同じグループ MMSI 番号を登録する必要があります。他のグループの船舶が同じグループ MMSI 番号を使っている場合は、グループ MMSI 番号を変更してください。

1. [MENU] ⇒ “SETUP” ⇒ “DSC SETUP” ⇒ “GROUP DIR.”

2. ▲ / ▼キーを押して、“**ADD**”を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。

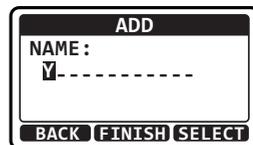


3. ▲ / ▼キーを押して、“**NAME:**”を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。



4. ▲ / ▼キーを押して、グループアドレス帳に登録するグループ名の最初の文字を選択します。

5. **[SELECT]** ソフトキーを押して、カーソルを次の桁に移動します。



6. 手順4～5を繰り返して、グループ名を入力します。

もし間違えて入力したときは、◀ / ▶キーを何度か押して、間違えた文字を選択して手順4と5に従って正しい文字を入力します。

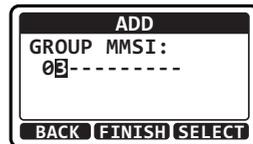
7. 入力が完了したら、**[FINISH]** ソフトキーを押して設定を保存します。

8. ▼キーを押して、“**GROUP MMSI:**”を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。



9. ▲ / ▼キーを押して、数字を選択します。

10. **[SELECT]** ソフトキーを押して、カーソルを次の桁に移動します。



11. 手順4～5を繰り返してすべて入力します。

もし間違えて入力したときは、◀ / ▶キーを何度か押して、間違えた数字を選択して手順4と5に従って正しい数字を入力します。

12. 入力が完了したら**[FINISH]** ソフトキーを押して、前の画面に戻ります。

13. 続けて他のグループを入力するには、手順2～12を繰り返します。



14. **[FINISH]** キーを押して、通常画面に戻ります。

## グループコールを送信する

### ● グループアドレス帳を使用してグループコールを送信する

1. [MENU] → “DSC” → “GROUP”

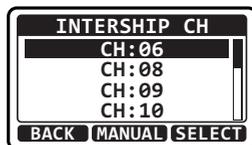
2. ▲ / ▼ キーを押して、“HISTORY” または “MEMORY” を選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。



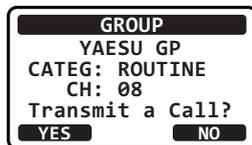
3. ▲ / ▼ キーを押して、通信するグループを選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。



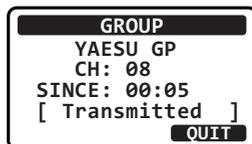
4. ▲ / ▼ キーを押して、通信するチャンネルを選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。すべての音声チャンネルから選択するには、[MANUAL] ソフトキーを押してから選択します。



5. グループコールを送信するには [YES] ソフトキーを押します。



6. グループコールを送信した後、画面が図のような表示になります。グループコールが送信されると、グループ内のすべてのトランシーバーが指定したチャンネルに切り替わります。



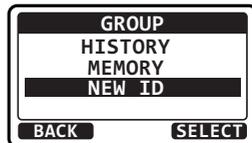
7. チャンネルを受信して使用中でないことを確認してから、PTT スイッチを押しながらマイクに向かって話して、他の船舶と通信します。

## ● ループ MMSI 番号を手動で入力してグループコールを送信する

グループアドレス帳を使わずに、グループ MMSI 番号を手動で入力して、グループコールを送信することができます。

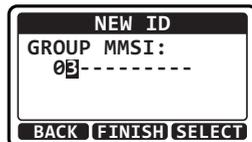
1. [MENU] → “DSC” → “GROUP”

2. ▲ / ▼ キーを押して、“NEW ID” を選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。



3. ▲ / ▼ キーを押して、数字を選択します。

4. [SELECT] ソフトキーを押して、カーソルを次の桁に移動します。

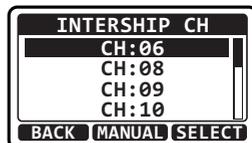


5. 手順 3 ~ 4 を繰り返し、9 桁の MMSI 番号をすべて入力します。

もし間違えて入力したときは、◀ / ▶ キーを何度か押して、間違えた文字を選択して手順 3 に従って正しい数字を入力します。

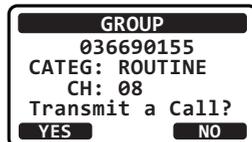
6. グループ MMSI 番号をすべて入力したら、[FINISH] ソフトキーを押して設定を保存します。

7. ▲ / ▼ キーを押して、通信するチャンネルを選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。すべての音声チャンネルから選択するには、[MANUAL] ソフトキーを押してから選択します。



8. [YES] ソフトキーを押してグループコールを送信します。

グループコールが送信されると、グループ内のすべてのトランシーバーが指定されたチャンネルに切り替わります。



9. グループコールを送信した後、表示は変更されずに上記の手順 7 で選択したチャンネルに切り替わります。

10. チャンネルを受信して使用中でないことを確認してから、PTT スイッチを押しながらマイクに向かって話して、他の船舶と通信します。

## グループコールの受信

1. 個別コールを受信するとアラーム音が鳴り、呼び出してきた船舶の MMSI 番号が画面に表示されます。

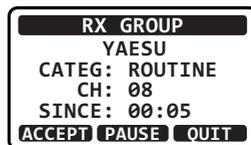
2. なにかキーを押すとアラームが停止します。

[**ACCEPT**] キー：このキーを押すと、グループコールを受け入れ、要求されたチャンネルに切り替わります。

**参考**：[ACCEPT] ソフトキーが押されない場合でも約 30 秒で、自動で指定されたチャンネルに変更されます。

[**PAUSE**] キー：このキーを押すと、指定されたチャンネルへの自動切り替えが一時的に無効になります。

[**RESUME**] キー：このキーを押すと、指定されたチャンネルへの自動切り替えを再開します。

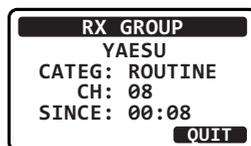


[**QUIT**] キー：指定されたチャンネルに切り替わる前に、このキーを押すと、自動チャンネル切り替えを中止して、最後に選択していたチャンネルに戻ります。

3. 呼び出している船舶の MMSI（または名前）、呼び出しの種類および指定されたチャンネルが表示されます。

4. [**QUIT**] ソフトキーを押すと、通常の画面に戻ります。

5. 応答する場合はチャンネルを受信して、使われていないことを確認してから、**PTT** スイッチを押しながら、マイクに向かって話して、グループ内の船舶と通信します。



### 参考

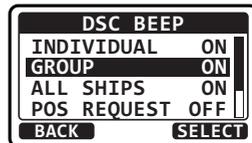
未確認のグループコールがあると、画面に“☒”アイコンが表示されます。DSC ログから未確認のグループ呼び出しを確認することができます。“**受信した遭難通報の履歴表示**” (60 ページ) を参照してください。

## グループコールのベル音を設定する

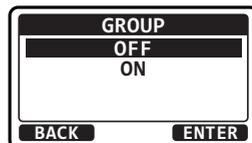
グループコールを受信したときのベル音を鳴らないように設定することができます。

1. [MENU] → “SETUP” → “DSC SETUP” → “DSC BEEP”

2. ▲ / ▼ キーを押して、“GROUP” 選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。



3. ▲ キーを押して、“OFF” 選択し、[ENTER] ソフトキーを押します。



4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

ベル音を再び有効にするには、上記の手順 3 で “ON” を選択します。

## 位置情報要求

他の船舶の位置を GX1400GPS/J の画面に表示することができます。さらに対応した GPS チャートプロッターが接続されている場合には GPS チャートプロッターの画面にも表示されます。他の船舶の位置を知りたい場合に大変便利な機能です。

### 注意

位置情報要求は、相手の船舶が GPS 受信機を DSC 対応トランシーバーに接続していて測位できていること、また、位置情報要求を拒否する設定をしていない場合に有効です。

## 他の船舶に位置情報要求を送信する

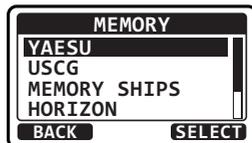
### ● 個別アドレス帳を使用して位置情報要求を送信する

1. [MENU] → “DSC” → “POS REQUEST”

2. ▲ / ▼ キーを押して、“HISTORY” または “MEMORY” を選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。



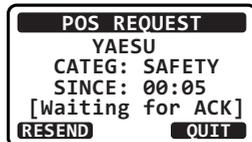
3. ▲ / ▼キーを押して、通信する個別の相手を選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。



4. [YES] ソフトキーを押して、位置情報要求を送信します。



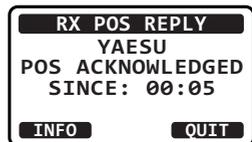
5. 位置情報要求を送信した後、応答信号を受信できない場合、画面が図のような表示になります。[RESEND] ソフトキーを押すと、もう一度位置情報要求を送信します。



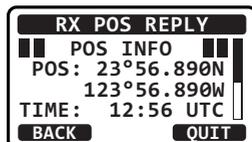
6. ポーリングした船舶から位置情報を受信するとベル音が鳴って、接続されている GPS チャートプロッターに位置情報を送信します。

7. 何かキーを押すとベル音が停止します。

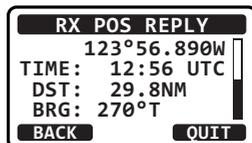
8. [INFO] ソフトキーを押すと、ポーリングした船舶から転送された位置データが画面に表示されます。



9. ▲ / ▼キーを押して画面をスクロールさせて、受信したデータを確認します。



10. [QUIT] ソフトキーを押すと、通常画面に戻ります。



### 注意

位置情報を要求した船舶から位置情報データを含む応答が受信できなかった場合には、画面の緯度経度の欄に "--" と表示されます。

## ● MMSI 番号を手動で入力して位置情報要求を送信する

個別アドレス帳を使わずに、手動で MMSI 番号を入力して、位置情報を要求をすることができます。

1. **[MENU]** ⇒ “DSC” ⇒ “POS REQUEST”

2. ▲ / ▼ キーを押して、“NEW ID” を選択し、**[SELECT]** ソフトキーを押します。



3. ▲ / ▼ キーを押して、数字を選択します。

4. **[SELECT]** ソフトキーを押して、カーソルを次の桁に移動します。



5. 手順 3 ~ 4 を繰り返し、9 桁の MMSI 番号をすべて入力します。

もし間違えて入力したときは、◀ / ▶ キーを何度か押して、間違えた文字を選択して手順 3 に従って正しい数字を入力します。

6. MMSI 番号をすべて入力したら、**[FINISH]** ソフトキーを押して設定を保存します。

7. **[YES]** ソフトキーを押して位置情報要求を送信します。



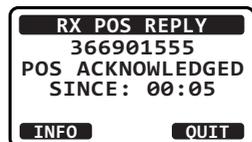
8. 位置情報要求を送信した後、応答信号を受信できない場合、画面が図のような表示になります。**[RESEND]** ソフトキーを押すと、もう一度位置情報要求を送信します。



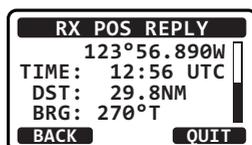
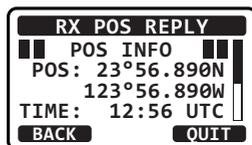
9. ポーリングした船舶から位置情報を受信するとベル音が鳴って、接続されている GPS チャートプロッターに位置情報を送信します。

10. 何かキーを押すとベル音が停止します。

11. **[INFO]** ソフトキーを押すと、ポーリングした船舶から転送された位置データが画面に表示されます。



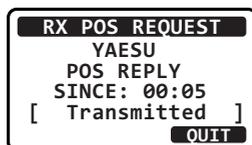
12. ▲ / ▼キーを押して画面をスクロールさせて、受信したデータを確認します。
13. [QUIT] ソフトキーを押すと、通常画面に戻ります。



## 位置情報要求の受信

他の船舶から位置要求を受信するとベル音が鳴り、画面に“RX POS REQUEST”と表示されます。

1. 他の船舶から位置要求を受信すると、トランシーバーは、自船の現在位置情報を要求した船舶に送信します。
2. [QUIT] ソフトキーを押すと、通常画面に戻ります。

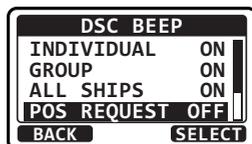


## 位置情報要求を受信したときのベル音を設定する

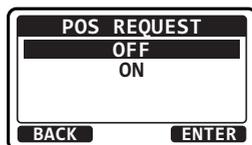
位置情報要求を受信したときのベル音を鳴らないように設定することができます。

1. [MENU] ⇒ “SETUP” ⇒ “DSC SETUP” ⇒ “DSC BEEP”

2. ▲ / ▼キーを押して、“POS REQUEST”を選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。



3. ▲キーを押して、“OFF” 選択し、[ENTER] ソフトキーを押します。



4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。  
ベル音を再び有効にするには、上記の手順3で“ON”を選択します。

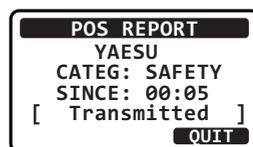
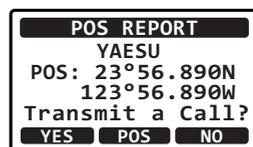
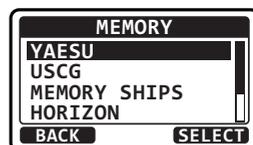
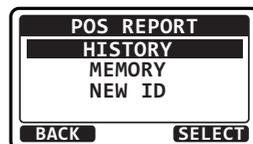
## 位置情報通知

自船の現在位置情報(緯度/経度)を他の船舶または海岸局に送ることができます。位置情報を送信するには、内蔵または外部 GPS 受信機から有効な位置情報データを受信しているか、手動で位置情報を入力する必要があります。

### 位置情報を送信する

#### ● 個別アドレス帳を使用して位置情報を送信する

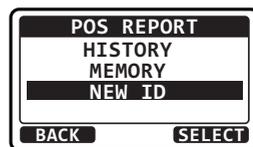
1. **[MENU]** → “DSC” → “POS REPORT”
2. ▲ / ▼ キーを押して、“HISTORY” または “MEMORY” を選択し、**[SELECT]** ソフトキーを押します。
3. ▲ / ▼ キーを押して、通信する個別の相手を選択し、**[SELECT]** ソフトキーを押します。
4. **[YES]** ソフトキーを押して、位置情報を送信します。  
もし表示された位置情報(緯度/経度/時刻)を変更するときは、**[POS]** ソフトキーを押して入力画面に移動します。
5. **[QUIT]** キーを押して、通常画面に戻ります。



#### ● MMSI 番号を手動で入力して位置情報を送信する

相手の船舶の MMSI 番号を手動で入力して自船の位置情報を送信することができます。

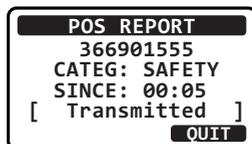
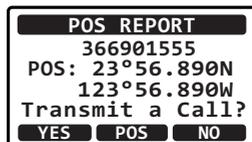
1. **[MENU]** → “DSC” → “POS REPORT”
2. ▲ / ▼ キーを押して、“NEW ID” を選択し、**[SELECT]** ソフトキーを押します。



- ▲ / ▼キーを押して、数字を選択します。
- [**SELECT**] ソフトキーを押して、カーソルを次の桁に移動します。

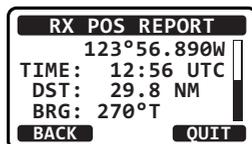
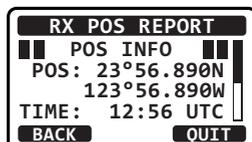
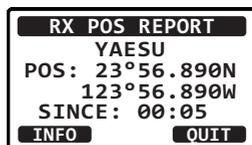


- 手順 3 ~ 4 を繰り返し、9 桁の MMSI 番号をすべて入力します。  
もし間違えて入力したときは、◀ / ▶キーを何度か押して、間違えた文字を選択して手順3に従って正しい数字を入力します。
- MMSI 番号をすべて入力したら、[**FINISH**] ソフトキーを押して設定を保存します。
- [**YES**] ソフトキーを押して、位置情報を送信します。  
もし表示された位置情報（緯度 / 経度 / 時刻）を変更するときは、[**POS**] ソフトキーを押して入力画面に移動します。
- [**QUIT**] キーを押して、通常画面に戻ります。



## 位置情報通知の受信

- 位置情報通知を受信するとベル音が鳴って、画面に相手の船舶のMMSI または名前、受信してからの経過時間、および位置情報を表示します。接続されているGPSチャートプロッタにNMEAセンテンス(DSCとDSE)を出力します。
- なにかキーを押すとベル音が停止します。
- [**INFO**] ソフトキーを押すと、他の船舶の位置情報の詳細を表示します。
- ▲ / ▼キーを押して画面をスクロールさせて、受信したデータを確認します。
- [**QUIT**] ソフトキーを押すと、通常画面に戻ります。

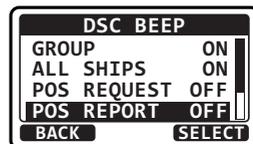


## 位置情報通知を受信したときのベル音を設定する

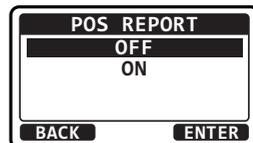
位置情報通知を受信したときのベル音を鳴らさないようにできます。

1. [MENU] → “SETUP” → “DSC SETUP” → “DSC BEEP”

2. ▲ / ▼キーを押して “POS REPORT” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。



3. ▲キーを押して、“OFF” 選択し、[ENTER] ソフトキーを押します。



4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

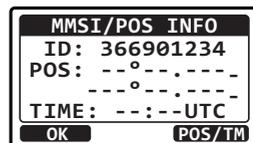
ベル音を再び有効にするには、上記の手順3で “ON” を選択します。

## 位置情報の手動入力

内蔵 GPS アンテナや外部 GPS 機器から有効な位置情報データが受信できない場合に、位置情報と時刻を手動で入力できます。

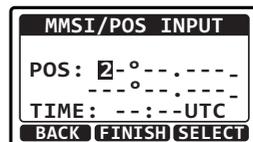
1. [MENU] → “MMSI/POS INFO”

2. [POS/TM] ソフトキーを押します。

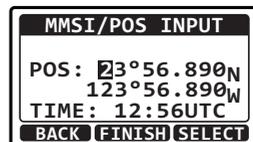


3. ▲ / ▼キーを押して、緯度の最初の数字を選択し、[SELECT] ソフトキーを押して次の桁に進みます。

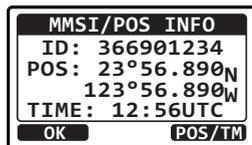
4. 手順3を繰り返して、“緯度” (Lat) と “経度” (Lon)、“時刻” (UTC：協定世界時) を入力します。



もし間違えて入力したときは、◀/▶キーを何度か押して、間違えた数字を選択して手順3に従って正しい数字を入力します。



5. 位置情報と時刻の入力が終了したら、[FINISH] ソフトキーを押して、前の画面に戻ります。



6. [OK] ソフトキーを押します。
7. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

位置情報を手動で設定している間は、画面の右上に“M”アイコンが点滅して表示します。

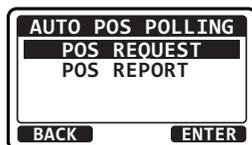
## 自動ポジションポーリング

個別アドレス帳から最大 6 隻の船舶を選択して、それらの船舶に位置情報要求を定期的に自動で送信、または自船の位置情報を定期的に自動で送信します。

### 自動ポジションポーリングの設定

1. [MENU] ⇒ “SETUP” ⇒ “DSC SETUP” ⇒ “AUTO POS POLLING”

2. ▲ / ▼ キーを押して、希望する動作を“POS REQUEST”（自動位置情報要求）または“POS REPORT”（自動位置情報通知）から選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。

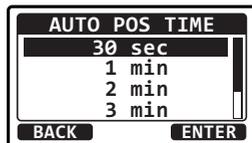


3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

### 自動ポジションポーリングの送信時間間隔の設定

1. [MENU] ⇒ “SETUP” ⇒ “DSC SETUP” ⇒ “AUTO POS TIME”

2. ▲ / ▼ キーを押して、希望の時間間隔を選択して、[ENTER] ソフトキーを押します。

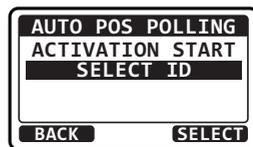


3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

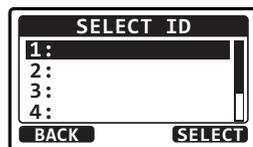
### 自動ポジションポーリングする船舶の設定

1. [MENU] ⇒ “DSC” ⇒ “AUTO POS POLLING”

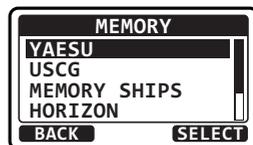
- ▲/▼キーを押して、“**SELECT ID**”を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。



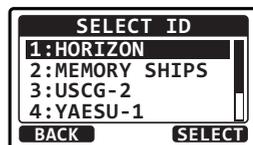
- ▲/▼キーを押して、登録する番号の行を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。  
個別アドレス帳に登録された船舶名が表示されます。



- ▲/▼キーを押して、設定する船舶名を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。



- 手順3と4を繰り返して、設定する全ての船舶を登録します。

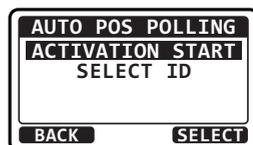


- [CLR]** キーを押して、通常画面に戻ります。

## 自動ポジションポーリングの開始 / 停止

- [MENU]** ⇒ “DSC” ⇒ “AUTO POS POLLING”

- ▲/▼キーを押して、“**ACTIVATION START**”を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。

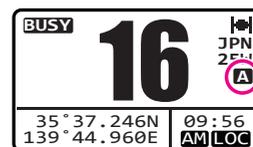


- ▲/▼キーを押して、“**START**”を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。



- [CLR]** キーを押して、通常画面に戻ります。  
自動ポジションポーリングを無効にするには、上記の手順3で“**STOP**”を選択します。

自動ポジションポーリングが有効になっている間は、画面に“**A**”アイコンが表示されます。



## DSC テストコール

DSC トランシーバーを装備している他の船舶と通信して、トランシーバーの DSC 機能が正常に動作することを確認できます。

### 注意

このテストを行うには、DSC テストコールを受信するトランシーバーにも DSC テスト機能が必要です。

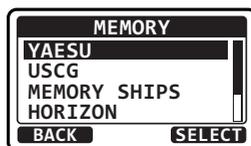
## DSC テストコールを送信する

### ● 個別アドレス帳を使用して DSC テストコールを送信する

1. [MENU] ⇒ “DSC” ⇒ “TEST CALL”

2. ▲ / ▼ キーを押して、“HISTORY” または “MEMORY” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。

3. ▲ / ▼ キーを押して、個別アドレス帳に登録されている船舶名を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。



4. [YES] ソフトキーを押して、DSC テストコールを送信します。



5. テストコールを送信した後、応答信号を受信できない場合、画面に “Waiting for ACK” と表示されます。これは、トランシーバーが、呼び出した船舶からの応答信号の受信を待っていることを意味します。



再度、テストコールを送信するには、[RESEND] ソフトキーを押します。

6. 応答信号を受信すると、画面に “Received ACK” と表示されます。



7. [QUIT] ソフトキーを押すと、通常画面に戻ります。

## ● MMSI 番号を手動で入力して DSC テストコールを送信する

1. [MENU] → “DSC” → “TEST CALL”

2. ▲ / ▼ キーを押して、“NEW ID” を選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。



3. ▲ / ▼ キーを押して、数字を選択します。

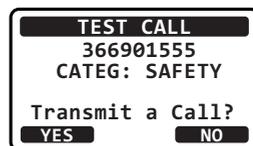
4. [SELECT] ソフトキーを押して、カーソルを次の桁に移動します。

5. 手順 3 ~ 4 を繰り返し、9 桁の MMSI 番号をすべて入力します。

もし間違えて入力したときは、◀ / ▶ キーを何度か押して、間違えた文字を選択して手順 3 に従って正しい数字を入力します。

6. MMSI 番号をすべて入力したら、[FINISH] ソフトキーを押して設定を保存します。

7. [YES] ソフトキーを押して、個別コールを送信します。



8. テストコールを送信した後、応答信号を受信できない場合、画面に“Waiting for ACK”と表示されます。これは、トランシーバーが、呼び出した船舶からの応答信号の受信を待っていることを意味します。



再度、テストコールを送信するには、[RESEND] ソフトキーを押します。

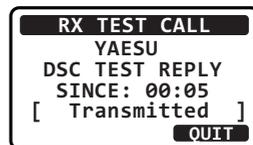
9. 応答信号を受信すると、画面に“Received ACK”と表示されます。



10. [QUIT] ソフトキーを押すと、通常画面に戻ります。

### DSC テストコールの受信

他の船舶からのテストコールを受信すると、トランシーバーは自動的に確認応答を送信します。画面に DSC テストコールを送信した船舶の MMSI または名前が表示されます。



## DSC ログ（送受信履歴）の操作

送信した呼び出し、受信した遭難通報やその他の呼び出し（個別、グループ、全船などの呼び出し）は DSC ログに保存されていますので、後から確認することができます。未確認（未読）の呼び出し（コール）がある場合には画面に“☐”アイコンを表示します。

ログ機能は、最大 100 件の送信を、最新の 50 件の遭難通報を、最新の 100 件の他の呼び出し（個別、グループ、全船、ポジションレポート、位置情報要求の応答、テストコールの応答、ポーリングコール）を保存できます。

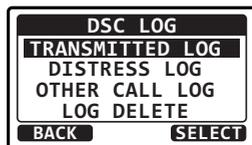
### 参考

“DSC LOG” メニューを選択すると、自動的に優先度の高いログから順に表示します。

## 送信した呼び出し履歴の表示

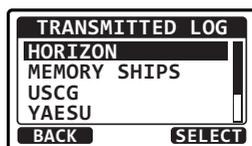
1. [MENU] → “DSC” → “DSC LOG”

2. ▲ / ▼ キーを押して、“TRANSMITTED LOG” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。

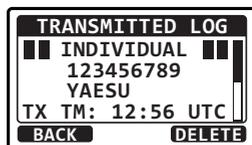


3. ▲ / ▼ キーを押して、呼び出しを確認する船舶の MMSI 番号または名前を選択します。

4. 選択した履歴の詳細を確認するには、[SELECT] ソフトキーを押します。



5. ▲ / ▼ キーを押して画面をスクロールさせて、内容を確認します。



6. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

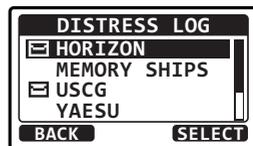
## 受信した遭難通報の履歴表示

1. [MENU] → “DSC” → “DSC LOG”

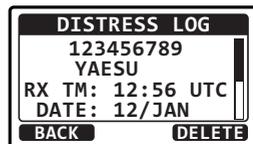
2. ▲ / ▼キーを押して、“**DISTRESS LOG**”を選択して、[**SELECT**] ソフトキーを押します。



3. ▲ / ▼キーを押して、呼び出しを確認する船舶のMMSI 番号または名前を選択します。未確認（未読）の呼び出し（コール）の場合には先頭に“☐”アイコンを表示します。



4. 選択した履歴の詳細を確認するには、[**SELECT**] ソフトキーを押します。  
5. ▲ / ▼キーを押して画面をスクロールさせて、内容を確認します。



6. [**CLR**] キーを押して、通常画面に戻ります。

## 受信したその他の呼び出しの履歴確認

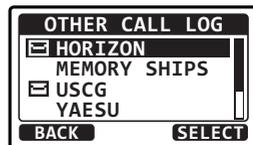
受信したその他呼び出し（個別、グループ、全船など）の履歴を確認することができます。

1. [**MENU**] → “DSC” → “DSC LOG”

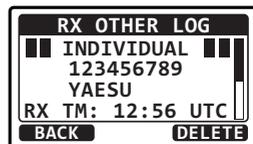
2. ▲ / ▼キーを押して、“**OTHER LOG**”を選択して、[**SELECT**] ソフトキーを押します。



3. ▲ / ▼キーを押して、呼び出しを確認する船舶のMMSI 番号または名前を選択します。未確認（未読）の呼び出し（コール）の場合には先頭に“☐”アイコンを表示します。



4. 選択した履歴の詳細を確認するには、[**SELECT**] ソフトキーを押します。  
5. ▲ / ▼キーを押して画面をスクロールさせて、内容を確認します。



6. [**CLR**] キーを押して、通常画面に戻ります。

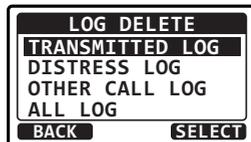
## DSC ログに保存されている呼び出しの一括削除

1. **[MENU]** 〰️→ “DSC” 〰️→ “DSC LOG”

2. ▲ / ▼キーを押して、“LOG DELETE” を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。



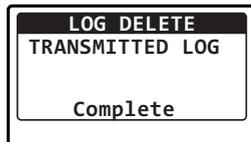
3. **DIAL/ENT** ツマミをまわして、一括で削除する呼び出しログの種類 (“TRANSMITTED LOG” / “DISTRESS LOG” / “OTHER CALL LOG” / “ALL LOG”) を選択します。



4. **[YES]** ソフトキーを押して削除します。  
キャンセルする場合には **[NO]** ソフトキーを押します。



5. **[CLR]** キーを押して、通常画面に戻ります。



### 注意

上記の手順では、選択した種類のすべてのログを一括して削除します。  
ログに記録された呼び出しを 1 件ずつ削除するには、削除する呼び出しの詳細を確認する画面で、**[DELETE]** ソフトキーを押します。

# 設定メニュー (SETUP)

## DSC 機能設定 (DSC SETUP)

### 個別アドレス帳 (INDIVIDUAL DIR.)

GX1400GPS/JにはDSCアドレス帳があり、個別コール、位置情報要求、およびレポート送信の位置を指定して、連絡する船舶または個人の名前と関連するMMSI番号を保存することができます。

個別コールを送信するには、携帯電話の電話帳のように、連絡先の船の情報を個別アドレス帳に登録します。

詳細については、“**個別アドレス帳の登録**” (38 ページ) を参照してください。

### 個別コール返答 (INDIVIDUAL REPLY)

トランシーバーのチャンネルを音声通信用チャンネルに切り替えるように要求する個別コールに、“AUTO”、または“MANUAL” (工場出荷時設定) で返答するかを設定します。

“MANUAL” に設定している場合は、呼び出してきた船舶のMMSI番号が表示されて、誰が呼び出しているかを確認することができます。

詳細については、“**個別コール返答の設定**” (39 ページ) を参照してください。

### 個別コール返答内容 (INDIVIDUAL ACK)

上記の個別コール返答の設定が“AUTO” に設定されている場合の自動確認応答を“ABLE” (工場出荷時設定) または“UNABLE” で返答するかを設定できます。

詳細については、“**個別コールの確認応答内容の設定**” (40 ページ) を参照してください。

### 個別コールベル音 (INDIVIDUAL RING)

個別コールを受信したことを知らせるベル音が鳴る時間を設定します。5 秒、10 秒、15 秒、20 秒、2 分 (工場出荷時設定) から選択変更できます。

詳細については、“**個別コールのベル音を設定する**” (43 ページ) を参照してください。

### グループメモリー (GROUP DIR.)

この機能を使用する船舶グループ内のすべてのDSC対応のトランシーバーに、同じグループMMSI番号を登録する必要があります。

詳細については、“**グループコールを設定する**” (44 ページ) を参照してください。

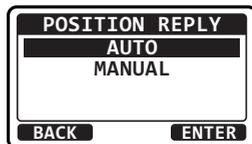
## 位置情報要求への応答 (POSITION REPLY)

他の船舶から位置情報要求を受信したときに、自船の位置情報を“**AUTO**” (自動、工場出荷時設定) または“**MANUAL**” (手動) で送信するように設定できます。

自船の位置情報を自動で知らせたくないときには、“**MANUAL**” に設定すると、位置情報を要求してきた船舶の MMSI 番号または名前が表示され、要求している船舶に位置情報を送信するかどうかを選択することができます。

1. [MENU] ⇒ “**SETUP**” ⇒ “**DSC SETUP**” ⇒ “**POSITION REPLY**”

2. ▲ / ▼ キーを押して“**AUTO**” または“**MANUAL**”を選択して、[ENTER] ソフトキーを押して設定を保存します。



3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

## 自動ポジションポーリング (AUTO POS POLLING)

個別アドレス帳に登録された船舶から、最大 6 隻まで指定して自動で位置情報を要求または通知することができます。

詳細については、“**自動ポジションポーリングの設定**” (56 ページ) を参照してください。

## 自動位置情報要求間隔 (AUTO POS TIME)

自動で位置情報を要求または通知するポーリングの送信間隔を設定します。

詳細については、“**自動ポジションポーリングの送信時間間隔の設定**” (56 ページ) を参照してください。

## 自動チャンネル変更時間 (AUTO CH CHANGE)

遭難通報または全船コール (緊急または安全) を受信したときに、自動でチャンネル 16 に切り替える時間を設定します。

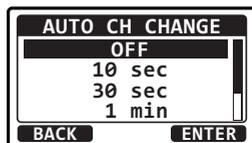
工場出荷時設定は“30sec” (30 秒) です。

1. [MENU] ⇒ “**SETUP**” ⇒ “**DSC SETUP**” ⇒ “**AUTO CH CHANGE**”

2. ▲ / ▼ キーを押して、自動切り替え時間を選択して、[ENTER] ソフトキーを押して設定を保存します。

“**OFF**” に設定すると、自動でチャンネルの変更は行なわず、画面に“**C**” アイコンが表示されます。

3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



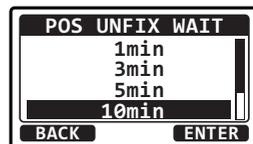
## 無操作タイムアウト時間 (NO ACTION TIMER)

“MENU” 画面または “DSC CALL” 画面を表示中に、なにも操作をしないとときに自動で通常画面に戻るまでの時間を設定します。

工場出荷時設定は “15min” (15 分) です。

1. [MENU] → “SETUP” → “DSC SETUP” → “NO ACTION TIMER”

2. ▲/▼キーを押して、時間を選択して、[ENTER] ソフトキーを押して設定を保存します。



3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

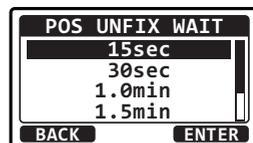
## 位置情報取得待ち時間 (POS UNFIX WAITING TIME)

遭難通報または位置情報通知、位置情報要求の確認応答を受信したときに、位置情報を取得するまでの待ち時間を設定します。

工場出荷時設定は “15sec” (15 秒) です。

1. [MENU] → “SETUP” → “DSC SETUP” → “POS UNFIX WAIT”

2. ▲/▼キーを押して、時間を選択して、[ENTER] ソフトキーを押して設定を保存します。



3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

## DSC ビープ (DSC BEEP)

各種の呼び出し (コール) を受信したときに鳴るビープ音を、それぞれオンまたはオフに設定できます。

個別コール、グループコール、全船コール、位置要求コール、自動位置送信コール、エリアコール、ポーリングコール、DSC テストコールについて、それぞれ設定できます。

詳細については、“グループコールのベル音を設定する” (49 ページ) を参照してください。

## **チャンネル設定 (CHANNEL SETUP)**

### **チャンネルグループ (CHANNEL GROUP)**

このメニュー項目では、本機のチャンネルグループを INTL (インターナショナル) / USA (アメリカ) / JPN (日本) から選択できます。

**注意:** 日本国内では工場出荷時設定の JPN (日本) のままでご使用ください。公海上など日本国外では INTL または USA に変更することができます。

詳しくは“**チャンネルグループ (CHANNEL GROUP)**” (24 ページ) を参照してください。

### **ウェザーアラート (WEATHER ALERT)**

NOAA (アメリカ海洋大気局) ウェザーチャンネルのウェザーアラート (気象警報) 受信機能のオン / オフを設定します。

詳しくは“**ウェザーアラート (WEATHER ALERT)**” (24 ページ) を参照してください。

### **マルチワッチ (MULTI WATCH)**

マルチワッチ機能の動作を“**DUAL**” (2 波受信) または“**TRIPLE**” (3 波受信) から選択します。

詳しくは“**マルチワッチ (MULTI WATCH)**” (24 ページ) を参照してください。

### **スキャンメモリー (SCAN MEMORY)**

メモリースキャン時にスキャンするチャンネルを設定します。

詳しくは“**スキャンメモリーの設定**” (27 ページ) を参照してください。

### **スキャンタイプ (SCAN TYPE)**

T モリースキャンの動作を“**MEMORY SCAN**” (メモリースキャン) と“**PRIORITY SCAN**” (プライオリティスキャン) から選択します。

詳しくは、“**スキャンタイプの設定**” (26 ページ) を参照してください。

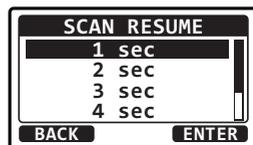
### **スキャン再開時間 (SCAN RESUME)**

スキャン中に一時停止しているときに、受信していた信号が無くなってから、スキャンを再開するまでの時間を設定します。

工場出荷時設定は“2sec” (2 秒) です。

1.  → “SETUP” → “CHANNEL SETUP” → “SCAN RESUME”

2. ▲/▼キーを押して、スキャン再開時間を“1sec”（1秒）～“5sec”（5秒）から設定します。



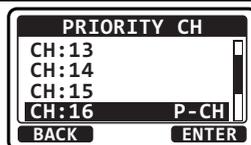
3. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

## プライオリティ チャンネル (PRIORITY CHANNEL)

プライオリティスキャン時に、優先して受信するプライオリティチャンネル（優先チャンネル）を設定します。工場出荷時設定は、“チャンネル 16”です。

1. [MENU] ⇒ “SETUP” ⇒ “CHANNEL SETUP” ⇒ “PRIORITY CH”

2. ▲/▼キーを押して、プライオリティチャンネル（優先チャンネル）を選択します。
3. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



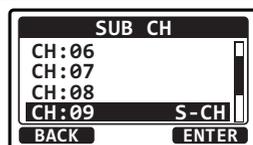
## サブチャンネル (SUB CHANNEL)

サブチャンネルを設定します。工場出荷時設定は“チャンネル 9”です。

サブチャンネルは [16/S] キーを長押しすると、呼び出すことができます。また、トリプルワッチ（3波受信）中に定期的に受信します。

1. [MENU] ⇒ “SETUP” ⇒ “CHANNEL SETUP” ⇒ “SUB CH”

2. ▲/▼キーを押して、サブチャンネルを選択します。
3. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

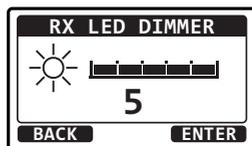


## BUSY インジケータ輝度調節 (RX LED DIMMER)

フロントパネルのBUSYインジケータ(受信LED)の明るさを調節します。設定します。工場出荷時設定は“5”です。

1. [MENU] → “SETUP” → “CHANNEL SETUP” → “RX LED DIMMER”

2. ▲ / ▼キーを押して、BUSYインジケータの明るさを選択します。  
“OFF”を選択すると信号を受信しても点灯しません。



3. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。

4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

## GPS 設定 (GPS SETUP)

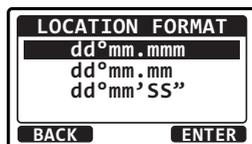
### 位置座標 (緯度、経度) の形式 (LOCATION FORMAT)

画面に表示される位置座標の形式を選択します。

工場出荷時設定は“ddd° mm.mmmm”です。

1. [MENU] → “SETUP” → “GPS SETUP” → “LOCATION FORMAT”

2. ▲ / ▼キーを押して、位置座標の形式を“ddd° mm.mmmm”または“ddd° mm’ ss”から選択します。



3. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。

4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

### 時刻のオフセット (TIME OFFSET)

画面に表示される現地時刻とUTC(世界協定時刻)とのオフセットを設定します。オフセットは、GPS 機器から受信した時刻に対して、加算または減算されます。

詳細については、“**時刻オフセットの変更**”(19 ページ)を参照してください。

### 表示時刻 (TIME AREA)

画面に表示する時刻をUTC(協定世界時)時間または現地時間から選択します。

詳細については、“**タイムエリアの変更**”(20 ページ)を参照してください。

## 時刻表示形式 (TIME FORMAT)

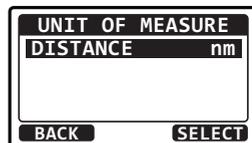
画面に表示する時刻を 12 時間形式または 24 時間形式から選択します。  
詳細については、“**時刻表示形式の変更**” (21 ページ) を参照してください。

## 表示単位 (UNITS OF MEASURE)

速度、距離、高度を表示する単位を設定します。

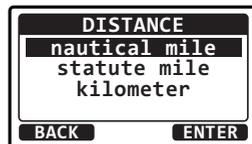
1. [MENU] ⇒ “SETUP” ⇒ “GPS SETUP” ⇒ “UNIT OF MEASURE”

2. [SELECT] ソフトキーを押します。



3. ▲ / ▼キーを押して、単位を選択します。

4. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。



5. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

## 通信速度 (BAUD RATE)

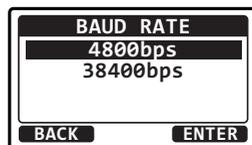
外部 GPS 入力 (NMEA 0183 入出力ケーブルの青色と緑色の電線) と DSC 出力 (NMEA 0183 入出力ケーブルの灰色と茶色の電線) の NMEA 0183 の通信速度 (ボーレート) を設定します。工場出荷時設定は 4800bps です。

1. [MENU] ⇒ “SETUP” ⇒ “GPS SETUP” ⇒ “BAUD RATE”

2. DIAL/ENT ツマミをまわして、通信速度 (ボーレート) を “4800bps” または “38400bps” から選択します。

3. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。

4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



## 出力センテンス (NMEA OUT)

NMEA で出力するセンテンスを設定します。

1. **[MENU]** ⇒ **“SETUP”** ⇒ **“GPS SETUP”** ⇒ **“NMEA OUT”**

2. ▲ / ▼キーを押して、設定するセンテンスを選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。

NMEA OUT	
GGA	OFF
GLL	ON
GSA	OFF
GSV	OFF
BACK	ENTER

3. ▲ / ▼キーを押して、“ON” または “OFF” を選択します。

4. **[ENTER]** ソフトキーを押して、設定を保存します。

GGA	
OFF	
ON	
BACK	ENTER

5. 手順 2 ~ 4 を繰り返して、他のセンテンスを設定します。

6. **[CLR]** キーを押して、通常画面に戻ります。

### 参考

- 各 NMEA センテンスの出力間隔は、入力デバイスの出力タイミングに依存します。ただし、位置情報データを含むセンテンスは、2 秒以下の間隔で出力されます。
- すべてのセンテンスが出力されるように設定されている場合、通信速度の設定によっては、1 秒以内にすべてのセンテンスを出力することはできません。GSA センテンスと GSV センテンスは約 5 秒間隔で出力されます。

## 設定メニュー (CONFIGURATION)

### バックライト輝度調節 (DIMMER)

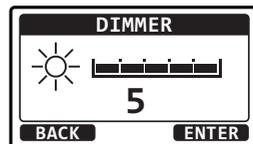
画面とキーのバックライトの明るさを調節します。

1. [MENU] → “SETUP” → “CONFIGURATION” → “DIMMER”

2. DIAL/ENT ツマミをまわして、バックライトの明るさを調節します。(工場出荷時設定は“5”です。)

“OFF” を選択するとバックライトは消灯します。

3. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



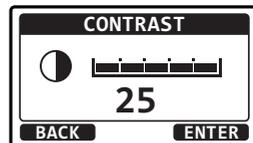
### 画面のコントラスト調節 (CONTRAST)

画面のコントラストを調節します。

1. [MENU] → “SETUP” → “CONFIGURATION” → “CONTRAST”

2. DIAL/ENT ツマミをまわして、コントラストを“00”～“25” (工場出荷時設定は“13”です。)から選択します。

3. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

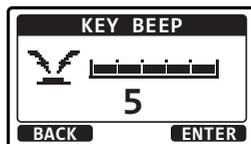


## キー操作音量 (KEY BEEP)

キーを押したときのビーブ音の音量を調節します。

1. **[MENU]** ⇒ **“SETUP”** ⇒ **“CONFIGURATION”** ⇒ **“KEY BEEP”**

2. **DIAL/ENT** ツマミをまわして、ビーブ音の音量を **“OFF”**、**“1”** ~ **“5”** (工場出荷時設定は **“3”** です。) から選択します。



3. **[ENTER]** ソフトキーを押して、設定を保存します。

4. **[CLR]** キーを押して、通常画面に戻ります。

### 参考

DSC 機能の緊急アラームとビーブ音はオフにできません。

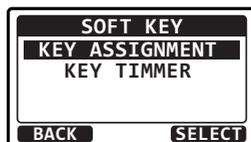
## ソフトキー (SOFT KEY)

### ● キー割り当て (KEY ASSIGNMENT)

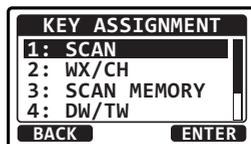
ソフトキー (1 ~ 12) に、よく使用する機能を割り当てることができます。

1. **[MENU]** ⇒ **“SETUP”** ⇒ **“CONFIGURATION”** ⇒ **“SOFT KEY”**

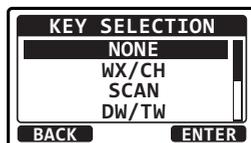
2. **▲ / ▼** キーを押して、**“KEY ASSIGNMENT”** を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。



3. **▲ / ▼** キーを押して、設定するソフトキーを選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。



4. 下記の表を参照して割り当てる機能を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。  
**“NONE”** を選択すると、機能の割り当てが削除されます。



5. 手順 3 と 4 を繰り返して、他のソフトキーを設定します。

6. **[CLR]** キーを押して、通常画面に戻ります。

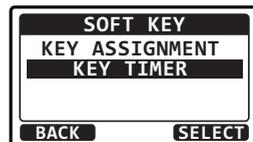
表示	アイコン	機能説明	ソフトキー番号 (工場出荷時設定)
NONE	(機能なし)	—	—
WX/CH		NOAA ウェザーチャンネルとマリンチャンネル切換	—
SCAN		スキャンの開始 / 停止	2
DW/TW		2 波同時受信*または 3 波同時受信*の開始 / 停止	4
SCAN MEMORY		現在のチャンネルをスキャンメモリーに追加 / 削除	3
PRESET		プリセットチャンネルと通常モードの切換 現在のチャンネルをプリセットチャンネルに追加 / 削除	1
GPS STATUS		GPS ステータス画面を表示	5
HI/LO		送信出力切換	6

## ● ソフトキーの表示時間 (KEY TIMER)

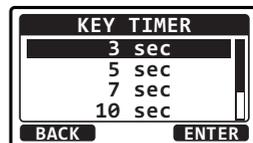
ソフトキー表示中に操作をしない場合に、ソフトキー表示が消えるまでの時間を設定できます。

1.  ⇒ “SETUP” ⇒ “CONFIGURATION” ⇒ “SOFT KEY”

2. ▲ / ▼キーを押して、“KEY TIMER” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。



3. ▲ / ▼キーを押して、“3 sec”、“5 sec”、“7 sec”、“10 sec”、“15 sec” から時間を選択して、[ENTER] ソフトキーを押します。



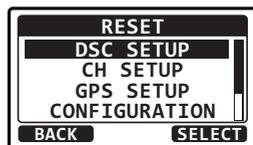
4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

## リセット操作 (RESET)

設定メニューの一部または全てをリセットしたり、本機を工場出荷時の設定に戻すことができます。

1.  ⇒ “SETUP” ⇒ “CONFIGURATION” ⇒ “RESET”

2. ▲/▼キーを押して、リセット操作を選択します。  
**DSC SETUP / CH SETUP / GPS  
SETUP / CONFIGURATION / FACTORY  
/ USER MMSI**※



※“USER MMSI”のリセットについては次項を参照してください。

3. [SELECT] ソフトキーを押します。  
4. [YES] ソフトキーを押して、リセットします。  
リセットを中止する場合は、[NO] ソフトキーを押します。



5. [OK] ソフトキーを押します。  
6. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



## MMSI 番号をリセットする

GX1400GPS/J に登録した MMSI 番号は、パスワードを入力してお客様ご自身でリセットすることができます。

### ● リセットパスワードの発行を依頼する

MMSI 番号のリセットに必要なパスワードについては、当社カスタマーサポートに依頼してください。

ご依頼の際には、下記の情報をお知らせください。

- (1) **トランシーバーの型名 GX1400GPS/J**
- (2) **トランシーバーのシリアル番号** (SER NO. に続く英数字 8 桁)  
(シリアル番号は、本体底面のラベルに記載されています。)
- (3) **現在の MMSI 番号** (数字 9 桁)  
(“MMSI 番号の登録について” (17 ページ) を参照して確認してください。)
- (4) **リクエストコード** (英数字 14 桁)  
(次項の“リクエストコードを確認する”を参照してください。)

### 注意

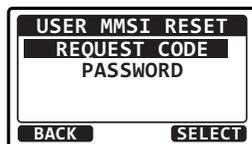
上記の情報に間違いがあると、パスワードの発行ができない場合がありますので、内容をよくご確認の上ご連絡ください。

### パスワードの発行についての連絡先

八重洲無線カスタマーサポート 電話番号 0570-088013

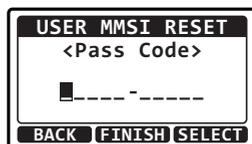
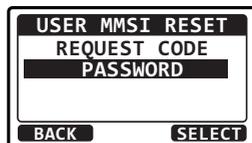
## ● リクエストコードを確認する

1. [MENU] ⇒ “SETUP” ⇒ “CONFIGURATION” ⇒ “RESET”
2. ▲ / ▼キーを押して、“USER MMSI” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. ▲ / ▼キーを押して、“REQUEST CODE” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。リクエストコード（英数字 14 桁）が表示されます。
4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



## ● MMSI 番号をリセットする

1. 前項の“リクエストコードを確認する”の手順 3 で、“PASSWORD” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
2. ▲ / ▼キーを押して、パスワードの最初の文字を選択し、[SELECT] ソフトキーを押して次の桁に進みます。
3. 手順 2 を繰り返して、パスワードを入力します。
4. 入力が完了したら [FINISH] ソフトキーを押します。
  - MMSI のリセットが完了すると “COMPLETE” と表示されますので、[OK] ソフトキーを押します。
  - もしエラーメッセージが表示された場合は、[YES] ソフトキーを押して、手順 2 ～ 4 に従って、もう一度パスワードを入力します。
5. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



### 参考

MMSI 番号のリセットに必要なパスワードは 1 度だけ有効ですので、ご注意ください。

# 定格

## ●一般定格

周波数範囲：	156.025MHz ~ 162.000MHz (詳細は国際 VHF チャンネル表を参照)
周波数ステップ：	25kHz
周波数安定度：	± 3ppm (-20°C ~ +60°C)
電波型式：	音声：F3E、DSC：F2B
アンテナ・インピーダンス：	50 Ω
電源電圧：	DC 13.8V、マイナス接地
消費電流：	1.2A (受信時)、0.3A (受信無信号時) 5.0A (送信 25W 時)、1.0A (送信 1W 時)
DSC フォーマット：	ITU-R M.493
使用温度範囲：	-20°C ~ +60°C
本体寸法 (突起物を除く)：	156 × 61 × 100mm (幅 × 高さ × 奥行)
本体重量：	約 800g (マイクを含む)

## ●送信部

送信出力：	25W/1W
変調方式：	バリエابل・リアクタンス変調
最大周波数偏移：	± 5kHz
不要輻射強度：	-80dBc 以下 (25W)、-66dBc 以下 (1W)
S / N比：	約 50dB

## ●受信部 (音声 / DSC)

受信方式：	ダブルコンバージョン・スーパーヘテロダイン
受信感度：	0.25 μV (12dB SINAD)
選択度：	12kHz/25kHz (-6dB/-60dB)
隣接チャンネル選択度：	約 75dB / 約 70dB(DSC)
相互変調：	約 70dB / 約 70dB(DSC)
S / N比：	40dB 以上
低周波出力：	約 4.5W @4 Ω 外部スピーカ

# NMEA 0183 対応センテンス

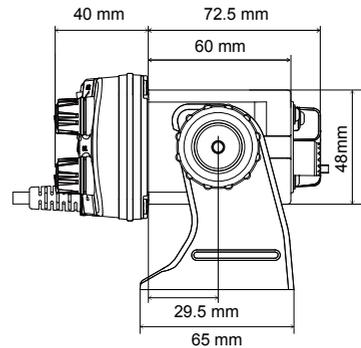
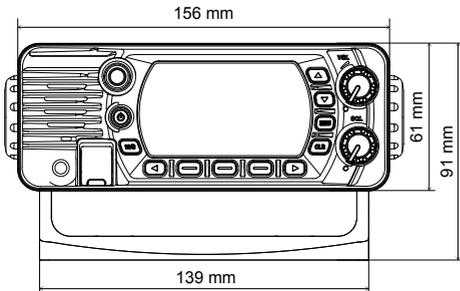
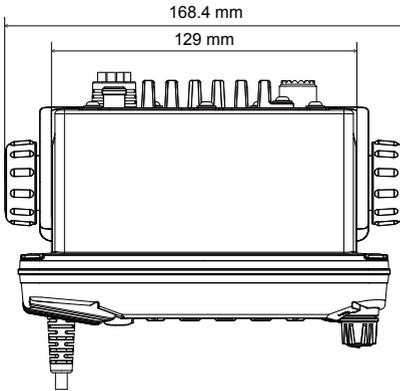
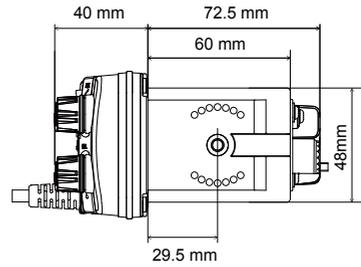
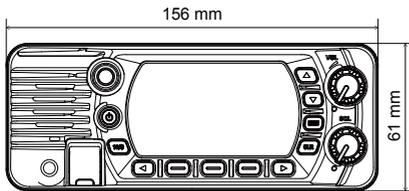
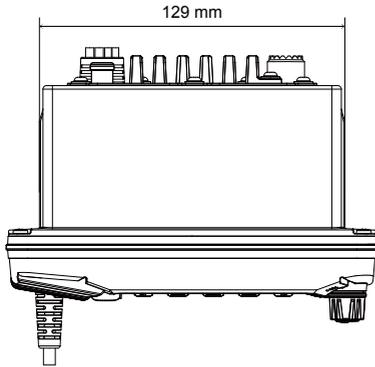
NMEA 0183 入力 (4800/38400bps) .....	GGA, GLL, GNS, RMC, GSA, GSV
NMEA 0183 出力 (4800/38400bps) .....	DSC, DSE, GGA, GLL, RMC, GSA, GSV

# 国際 VHF チャンネル表

チャンネル	送信周波数 (MHz)	受信周波数 (MHz)	備考	チャンネル	送信周波数 (MHz)	受信周波数 (MHz)	備考
01	156.050	160.650		60	156.025	160.625	
02	156.100	160.700		61	156.075	160.675	
03	156.150	160.750		62	156.125	160.725	
04	156.200	160.800		63	156.175	160.775	
05	156.250	160.850		64	156.225	160.825	
06	156.300	156.300	すべての船舶相互間用	65	156.275	160.875	
07	156.350	160.950		66	156.325	160.925	
08	156.400	156.400	すべての船舶相互間用	67	156.375	156.375	
09	156.450	156.450	遭難・緊急・安全一般呼出用*	68	156.425	156.425	
10	156.500	156.500	すべての船舶相互間用	69	156.475	156.475	小型船舶間同士用
11	156.550	156.550	海上保安庁海岸局・ボートラジオ用	70	156.525	-	DSC専用
12	156.600	156.600	海上保安庁海岸局・ボートラジオ用	71	156.575	156.575	所属海岸局用
13	156.650	156.650	船舶相互間・海上保安庁海岸局	72	156.625	156.625	小型船舶間同士用
14	156.700	156.700	海上保安庁海岸局・ボートラジオ用	73	156.675	156.675	小型船舶間同士用
15	156.750	156.750		74	156.725	156.725	所属海岸局用
16	156.800	156.800	遭難・緊急・安全一般呼出用*	75	156.775	156.775	
17	156.850	156.850		76	156.825	156.825	
18	156.900	161.500		77	156.875	156.875	小型船舶同士・所属海岸局との呼出・応答用
19	156.950	161.550		78	156.925	161.525	
20	157.000	161.600		79	156.975	161.575	所属海岸局用
21	157.050	161.650		80	157.025	161.625	
22	157.100	161.700		81	157.075	161.675	
23	157.150	161.750		82	157.125	161.725	
24	157.200	161.800		83	157.175	161.775	
25	157.250	161.850		84	157.225	161.825	
26	157.300	161.900		85	157.275	161.875	
27	157.350	161.950		86	157.325	161.925	
28	157.400	162.000		87	157.375	157.375	
				88	157.425	157.425	

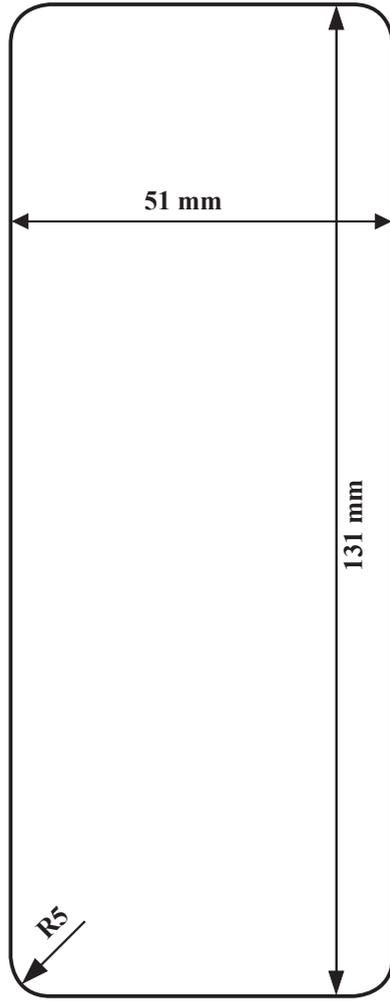
※ チャンネル 09 はチャンネル CH16 が使用中の場合に使用します。  
免許状に記されたチャンネルで運用してください。

# GX1400GPS/J 寸法图



切り取り線

## GX1400GPS/J 埋込設置用テンプレート



埋込設置を行うための長方形の穴を開ける際に、このテンプレートを切り取って使用してください。





# ***STANDARD HORIZON***

*Nothing takes to water like Standard Horizon*

**八重洲無線株式会社**

〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル

1907E-AC-2  
Printed in China



E M O 6 5 N O O O